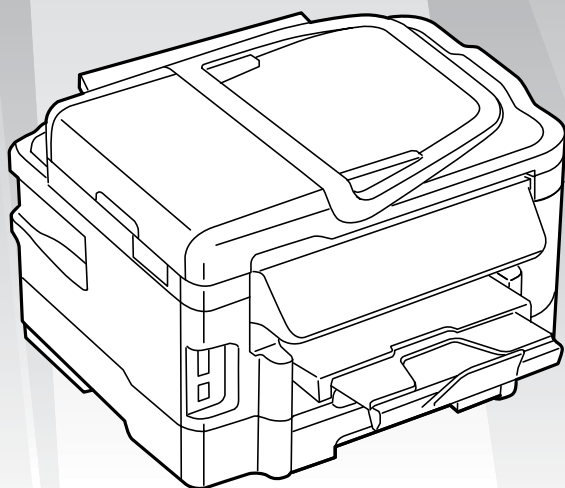
インクジェットプリンター（複合機）

PX-675F
PX-605F

操作ガイド

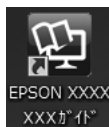
本書は製品の近くに置いてご活用ください。
本製品の使い方全般を説明しています。

本書では PX-675F のイラストや画面を使用して説明しています。

412391000

©2012 Seiko Epson Corporation. All rights reserved.

2012 年 7 月発行
Printed in XXXXXX

電子マニュアルの開き方

パソコンにインストールされた電子マニュアル（ユーザーズガイド、ネットワークガイド、Epson Connect ガイド）は、デスクトップ上のアイコンをダブルクリックして表示させます。

アイコンがないときは、以下の手順で表示させてください（XX-XXXX は機種名）。

- Windows
  ［スタート］－［すべてのプログラム］－［Epson Software］－［Epson Manual］－［EPSON XX-XXXX ユーザーズガイド（またはネットワークガイド）］
- Mac OS X
  ［起動ディスク］－［アプリケーション］－［Epson Software］－［Epson Manual］－［EPSON XX-XXXX ユーザーズガイド（またはネットワークガイド）］

掲載画面とイラスト

- 画面
  Windows 7 での表示画面を掲載しています。
- 本体イラスト
  PX-675F を例にして説明しているため、お使いの機種によって異なる場合があります。
- 操作パネルイラスト
  PX-675F を例に説明しているため、お使いの機種によって異なる場合があります。また、設定状況によって表示内容が異なる場合もあります。

記号の意味

!重要	必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
参考	補足情報や参考情報を記載しています。
☞	関連した内容の参照ページを示しています。
【　】	ボタン名を示します。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

もくじ

付録 68

使用上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に本製品のマニュアルを必ずお読みください。本製品のマニュアルの内容に反した取り扱いは故障や事故の原因になります。本製品のマニュアルは、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてください。

本製品のマニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作やお取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

記号	意味
⚠警 告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注 意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。
	必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。
	してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	分解禁止を示しています。
	濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	製品が水に濡れることの禁止を示しています。
	特定の場所に触れることの禁止を示しています。
	電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。

設置上のご注意

⚠警 告	
	本製品を布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。 内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。

⚠注 意	
	本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。 無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。 **本製品を移動する順は、左右の下部を両手で持ち、水平な状態で移動してください。** 傾けたり立てたりすると、スキャナーユニットが開いて、けがをするおそれがあります。
	不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管したりしないでください。 落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。 **油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。** 感電・火災のおそれがあります。

静電気

静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

電源に関するご注意

⚠警 告	
	電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。 コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。 **電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。** 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。 **電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。** 感電・火災のおそれがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電のおそれがあります。
	AC100V 以外の電源は使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 **電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。 **電源コードのたこ足配線はしないでください。** 発熱して火災になるおそれがあります。 家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。

	破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談ください。 また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。 • 電源コードを加工しない • 電源コードに重いものを載せない • 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない • 熱器具の近くに配線しない **付属の電源コード以外は使用しないでください。また､付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。

⚠注意	
	長期間ご使用にならないときは､安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用上のご注意

⚠警告	
	液晶ディスプレイが破損したときは､中の液晶に十分注意してください。 万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。 • 皮膚に付着したときは、付着物をふき取り、水で流し石けんでよく洗い流してください。 • 目に入ったときは、きれいな水で最低 15 分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。 • 飲み込んだときは、水で口の中をよく洗浄し、大量の水を飲んで吐き出した後、医師に相談してください。
	異物や水などの液体が内部に入ったときは､そのまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
	マニュアルで指示されている箇所以外の分解は行わないでください。
	製品内部の､マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。 感電や火傷のおそれがあります。 **雷が鳴り出したら､電源コンセントや電話回線に接続されている機器（製品本体、電源コード、電話線）に触れないでください。** 感電のおそれがあります。

	煙が出たり､変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。 **アルコール､シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。 **可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。** 引火による火災のおそれがあります。 **お客様による修理は､危険ですから絶対にしないでください。** **各種ケーブルは､マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。** 発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。 **開口部から内部に､金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。** 感電・火災のおそれがあります。

⚠注意	
	本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き､全ての配線を外したことを確認してから行ってください。 コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。 **各種ケーブルを取り付ける際は､取り付ける向きや手順を間違えないでください。** 火災やけがのおそれがあります。マニュアルの指示に従って、正しく取り付けてください。
	印刷用紙の端を手でこすらないでください。 用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。 **詰まった用紙を取り除く際は､用紙や用紙トレイを無理に引き抜かないでください。また、不安定な姿勢で作業しないでください。** 急に用紙や用紙トレイが引き抜けると、勢いでけがをするおそれがあります。 **本製品の上に乗ったり､重いものを置かないでください。** 特に、子どものいる家庭ではご注意ください。 倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。 また、ガラス部分が割れてけがをするおそれがあります。 **電源投入時および印刷中は､排紙ローラー部に指を近付けないでください。** 指が排紙ローラーに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。

本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。

インクが漏れるおそれがあります。

スキャナーユニットや ADF の開閉の際は、スキャナーユニットまたは ADF と、本体との接合部（継ぎ目）に手を近付けないでください。

指や手を挟んで、けがをするおそれがあります。

インクカートリッジに関するご注意

注意

インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。

- 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。
- 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師にご相談ください。
- 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。

インクカートリッジを分解しないでください。

分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。

インクカートリッジは強く振らないでください。

強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れるおそれがあります。

インクカートリッジは、子どもの手の届かない場所に保管してください。

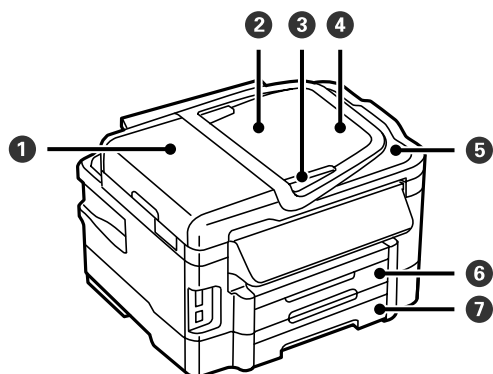
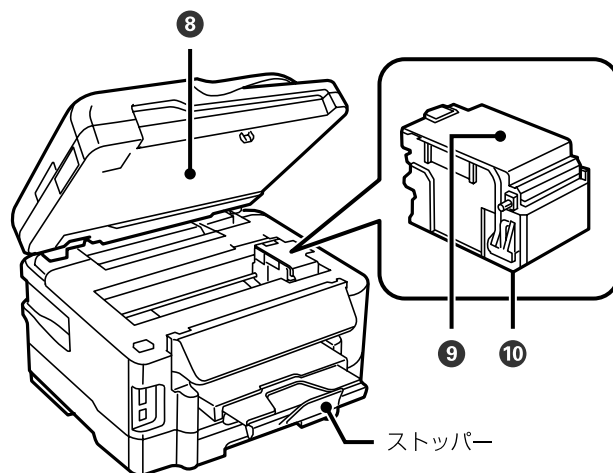
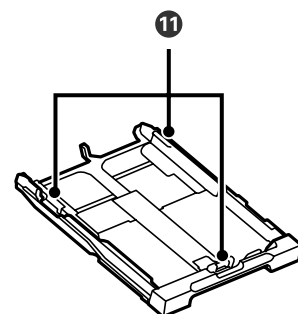
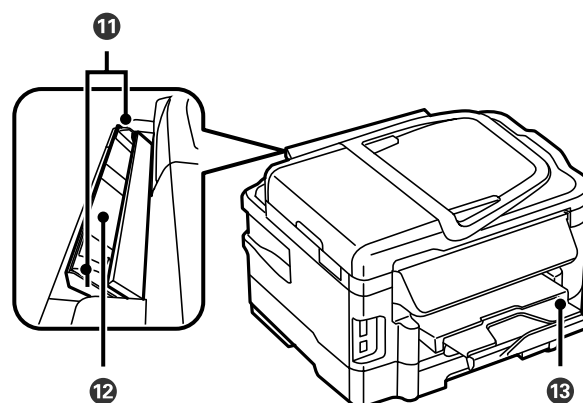
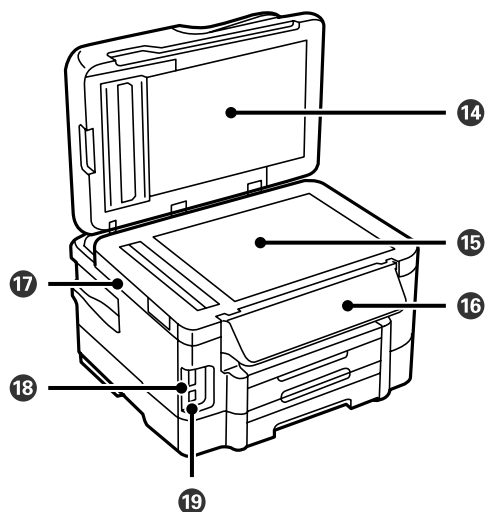
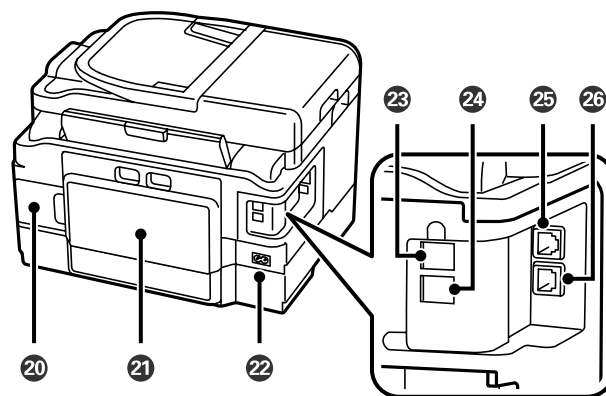
＜取り扱い上の注意＞

- インクカートリッジは冷暗所で保管し、個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。また、開封後は 6ヵ月以内に使い切ってください。
- インクカートリッジの袋は、本体に装着する直前まで開封しないでください。品質保持のため、真空パックにしています。
- 黄色いフィルムは必ず剥がしてからセットしてください。剥がさないまま無理にセットすると、正常に印刷できなくなるおそれがあります。なお、その他のフィルムやラベルは絶対に剥がさないでください。インクが漏れるおそれがあります。
- インクカートリッジの緑色の基板などには触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
  ☞「インクカートリッジの交換」53 ページ
- インク充填中は電源を切らないでください。充填が不十分で印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジを寒い所に長時間保管していたときは、3 時間以上室温で放置してからお使いください。
- インクカートリッジは、全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- 電源を切った状態でインクカートリッジを交換しないでください。また、プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故障の原因になります。
- インク充填中は、電源を切らないでください。充填が不十分で印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジを取り外した状態で本製品を放置したり、インクカートリッジ交換中に電源を切ったりしないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- 使用途中に取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にホコリが付かないように、本製品と同じ環境で、インク供給孔部を下にするか横にして保管してください。なお、インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありません。
- 取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- カートリッジは、IC チップでインク残量などの情報を管理しているため、使用途中に取り外しても再装着して使用できます。ただし、インクが残り少なくなったインクカートリッジを取り外すと、再装着しても使用できないことがあります。また、再装着の際は、プリンターの信頼性を確保するためにインクが消費されることがあります。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内に多少のインクが残ります。
- インクカートリッジに再生部品を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
- インクカートリッジを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

＜インクの消費＞

- プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもインクカートリッジ交換時・ヘッドクリーニング時などのメンテナンス動作でインクが消費されます。
- モノクロやグレースケール印刷の場合でも、用紙種類や印刷品質の設定によっては、カラーインクを使った混色の黒で印刷します。
- 購入直後のインク初期充填では、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は 2 回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。

操作部の名称と働き

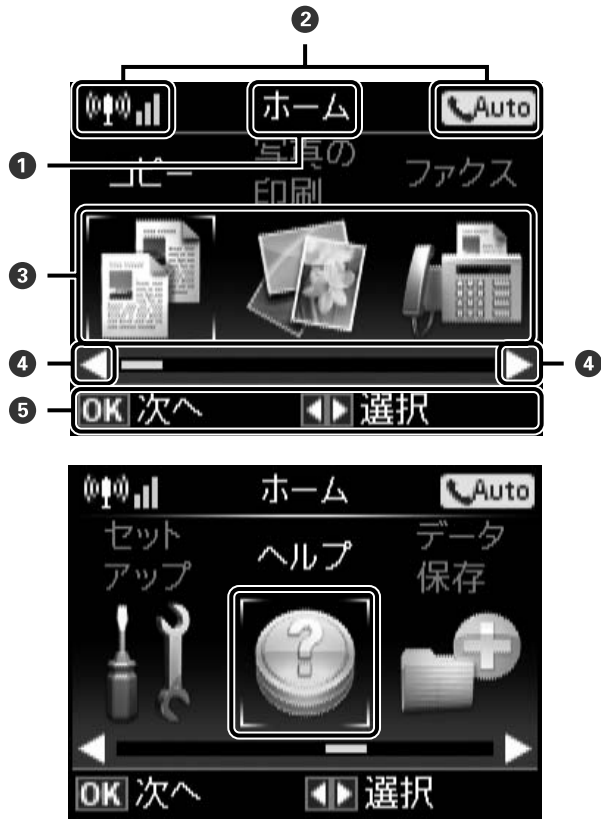
本体

❶	**ADF（オートドキュメントフィーダー）カバー** 詰まった原稿を取り除くときに開けます。
❷	**ADF** セットされた原稿を自動で送ります。
❸	**ADF 用紙ガイド** セットした用紙が斜めに給紙されないために、用紙の側面に合わせます。
❹	**ADF 給紙トレイ** セットした用紙を保持します。
❺	**ADF トレイ** ADF から排紙された用紙を支えます。
❻	**用紙トレイ 1** 印刷用紙をセットします。 ☞「印刷できる用紙と設定」28 ページ
❼	**用紙トレイ 2（PX-675F のみ）** 印刷用紙をセットします。 ☞「印刷できる用紙と設定」28 ページ

❽	**スキャナーユニット** 原稿をスキャンします。
❾	**カートリッジカバー** インクカートリッジ交換時に開けます。
❿	**プリントヘッド（ノズル）** インクを吐出します。

⓫	**用紙ガイド** 用紙の側面に合わせます。
⓬	**手差し給紙** 印刷用紙を 1 枚のみセットします。
⓭	**排紙トレイ** 印刷された用紙を保持します。

⑭	**原稿カバー** スキャン時に外部の光を遮ります。
⑮	**原稿台** 原稿をセットします。
⑯	**操作パネル** ☞「操作パネル」10 ページ
⑰	**スキャナーユニット** 原稿をスキャンする装置です。
⑱	**メモリーカードスロット** メモリーカードをセットします。
⑲	**外部機器接続ポート** 外部記憶装置を接続します。

⑳	**メンテナンスボックス** 廃インクを溜めます。
㉑	**背面ユニット** 背面に詰まった用紙を取り除くときに取り外します。
㉒	**電源コネクター** 電源コードを接続します。
㉓	**LINE ポート** 電話回線を接続します。
㉔	**EXT. ポート** 外付電話機を接続します。
㉕	**LAN ポート** LAN ケーブルを接続します。
㉖	**USB ポート** パソコンに接続する USB ケーブルを接続します。

操作パネル

ボタンは【　　】で表します（この項以外では、【スタート】ボタンを【スタート】と記載）。

❶	**【電源】ボタン** 電源の入 / 切をします。
❷	**【ホーム】ボタン** ホーム画面に戻ります。
❸	**液晶ディスプレイ** メッセージなどを表示します。購入時の設定では 10 分以上操作しないとスリープモード（表示が消える）になります。操作パネルのいずれかのボタンを押すと表示が戻ります。スリープモードに移行するまでの時間を変更できます。 ☞「セットアップモード」23 ページ
❹	**選択 / 設定ボタン** メニュー項目の設定や印刷枚数の設定をします。
❺	**【－ / ＋】ボタン** 印刷枚数の設定をします。
❻	**テンキー（数字キー）** 数字や文字の入力、設定項目などの選択をします。
❼	**【ストップ / リセット】ボタン** 本体が動作中の場合、動作を中止します。また、操作中のモードの設定を購入時の状態（メーカー設定値）に戻します。 用紙を ADF から給紙しているときに押すと、給紙中の用紙を排紙します。
❽	**ネットワークランプ** 無線 LAN に接続すると点灯します。 スリープモード（表示が消える）に入ると消灯しますが、操作パネルのいずれかの場所を押すと点灯します。
❾	**【リダイヤル / ポーズ】ボタン** ☞「リダイヤル送信」45 ページ
❿	**【アドレス帳】ボタン** 短縮・グループダイヤルの登録や編集、登録した番号の呼び出しをします。
⓫	**【戻る】ボタン** 1 つ前の画面に戻します。
⓬	**【スタート】ボタン** モノクロまたはカラーのどちらかを押すと、印刷を開始します。

画面の見方と使い方

操作できるボタンが点灯し、現在の状態をアイコンなどで表示します。操作パネルの使い方やアイコンの意味など、わからないことは［ヘルプ］をご覧ください。

❶	表示されている画面の名称です。
❷	状況をアイコンでお知らせします。 アイコンの意味は、【◀】【▶】で［ヘルプ］－［画面に表示されるアイコンの意味］をご覧ください。
❸	【◀】【▶】でアイコンに選択枠を移動して、使いたい機能を選択します。 ☞「メニュー一覧」12 ページ
❹	操作パネルの【◀】【▶】で操作することを示しています。
❺	操作できるボタンがアイコン表示されます。 ここでは、【OK】で次の画面へ移動することと、【◀】【▶】で項目を選択することを示しています。

メニュー一覧

設定項目の詳細な説明と併せてご覧ください。設定の組み合わせによって表示されない項目があります。

☞「設定項目の説明」14 ページ

コピーモード	コピーメニュー
	用紙とコピーの設定 プレビュー 写真コピー ID カードコピー

写真の印刷モード	写真の印刷
	写真を見ながら選んで印刷 全ての写真を印刷 全ての写真をインデックス印刷 いろいろなレイアウトの印刷 スライドショー 写真コピー

ファクスモード	ファクスメニュー
	ファクス送信設定 時刻指定送信 順次同報送信 ポーリング受信 レポート印刷

スキャンモード	スキャン機能
	スキャンしてメモリーカードに保存 スキャンして送信メールでリモート印刷 スキャンしてパソコンへ スキャンしてパソコンへ（PDF） スキャンしてパソコンへ（E メール）

セットアップモード	セットアップ機能	セットアップメニュー
	インク残量の表示	-
	プリンターのお手入れ	プリントヘッドのノズルチェック プリントヘッドのクリーニング プリントヘッドのギャップ調整 インクカートリッジ交換

セットアップモード	セットアップ機能	セットアップメニュー
（つづき）	プリンターの基本設定	音の設定 スクリーンセーバー設定 スリープ移行時間設定 日付 / 時刻設定 言語選択 /Language
	ネットワーク設定	無線 LAN 設定 ネットワーク基本設定 ネットワーク接続診断 ネットワーク情報確認
	Epson Connect 設定	Epson Connect 情報確認 プリンターの E メールアドレス サービス利用の一時停止 / 再開 購入時の設定に戻す
	Google クラウド プリント設定	Google クラウド プリント情報確認 サービス利用の一時停止 / 再開 購入時の設定に戻す
	ファイル共有設定	USB 接続優先 ネットワーク接続優先
	ファクス設定	ファクス送信設定 ファクス受信設定 ファクス回線設定 セキュリティ設定 ファクス機能診断
	外部機器印刷設定	用紙と印刷の設定 写真の色補正
	本体ステータスシートの印刷	-
	購入時の設定に戻す	ファクス通信設定 ファクス登録データのクリア ネットワーク設定 ネットワークとファクス設定以外 全ての設定

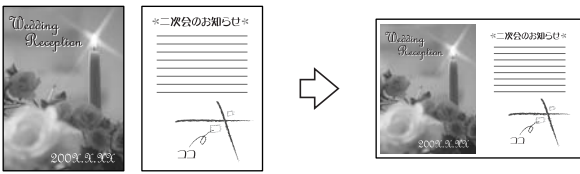
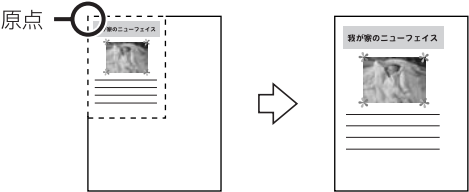
ヘルプ	ヘルプメニュー	設定項目
	操作方法	用紙のセット（手差し給紙） 用紙のセット（用紙トレイ） ハガキのセット 封筒のセット（手差し給紙） 封筒のセット（用紙トレイ） 原稿のセット（ADF） 原稿のセット（原稿台） メモリーカード /USB フラッシュメモリーの扱い
	インク関連	インク残量の確認 インクカートリッジの交換
	困ったときは	無線 LAN 接続できない 正しく給紙できない 印刷結果がおかしい ファクス送受信ができない 「スキャンしてパソコンへ」が使えない
	画面に表示されるアイコンの意味	-

データ保存モード	データ保存機能	データ保存メニュー
	メモリーカードのデータをバックアップ ファイル全削除	書き込み速度（ディスクドライブ接続時のみ表示）

ノート罫線モード	ノート罫線種類選択
	罫線（大） 罫線（小） 罫線（マス目） 便箋（写真背景・罫線なし） 便箋（写真背景・横罫線） 便箋（写真背景・縦罫線）

無線 LAN 設定へのショートカット	無線 LAN 設定
	カンタン自動設定 手動設定 プッシュボタン自動設定（AOSS/WPS） PIN コード自動設定（WPS） ネットワーク情報確認 無線 LAN を無効にする

設定項目の説明

設定の組み合わせによって表示されない項目があります。

コピーモード

操作パネルで、［コピー］－【▼】（設定変更）－［用紙とコピーの設定］の順に選択し、【▲】【▼】で項目を選択します。

■［用紙とコピーの設定］

項目名	説明	
両面	両面にコピーする（A4 または B5 サイズの普通紙のみ）かどうかを設定します。	
	片面→片面	片面の原稿を片面にコピーします。
	両面→両面	両面の原稿を両面にコピーします。
	片面→両面	2 枚の片面原稿を両面にコピーします。
	両面→片面	両面の原稿を片面コピーします。

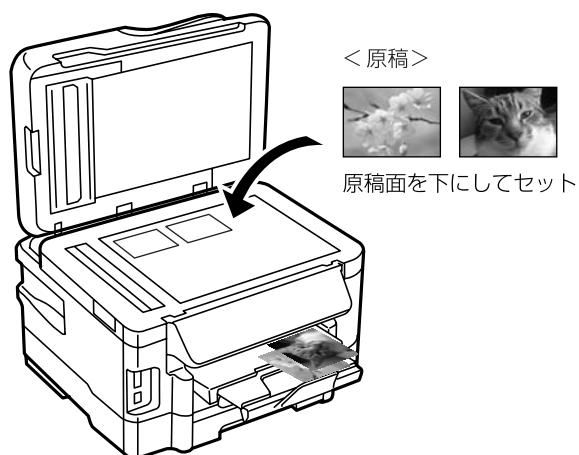
<table>
<tr><th>項目名</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td>部単位でコピー</td><td colspan="2">部単位のコピーをするかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">レイアウト</td><td colspan="2">レイアウトを選択します。</td></tr>
<tr><td>標準コピー</td><td>周囲に約 3mm の余白あり（フチあり）でコピーします。</td></tr>
<tr><td>フチなしコピー</td><td>余白なし（フチなし）でコピーします。</td></tr>
<tr><td>A4 原稿を 2 アップ /
B5 原稿を 2 アップ</td><td>2 枚の原稿（A4 または B5 サイズ）を 1 枚の用紙（A4 サイズ）にコピーします。
ADF 使用時は原稿の向きに注意してください。
☞「ADF へのセット」36 ページ</td></tr>
<tr><td rowspan="4">倍率</td><td colspan="2">コピーの倍率を設定します。以下の設定値以外に、［A4 → B5］や［ハガキ→ A4］など、定形用紙に合わせた倍率での拡大・縮小コピーもできます。</td></tr>
<tr><td>任意倍率</td><td>テンキー（数字キー）で倍率を直接入力するか、【+】【−】で倍率を変えてください。</td></tr>
<tr><td>等倍</td><td>100% の倍率でコピーします。</td></tr>
<tr><td>オートフィット</td><td>原点からの余白を含めて原稿の文字や画像のある部分をスキャンし、そのデータを用紙サイズに合わせて拡大または縮小してコピーします。
原点</td></tr>
<tr><td>用紙サイズ</td><td colspan="2" rowspan="2">印刷する用紙のサイズと用紙種類を選択します。
☞「印刷できる用紙と設定」28 ページ</td></tr>
<tr><td>用紙種類</td></tr>
<tr><td rowspan="4">給紙方法</td><td colspan="2">給紙するトレイを選択します。</td></tr>
<tr><td>トレイ 1</td><td>対応している全ての用紙がセットできます。</td></tr>
<tr><td>トレイ 2
（PX-675F のみ）</td><td>B5 サイズ以上の普通紙のみセットできます。</td></tr>
<tr><td>トレイ 1 →トレイ 2
（PX-675F のみ）</td><td>トレイ 1 の用紙がなくなると自動でトレイ 2 から給紙します。両方のトレイに B5 以上の普通紙をセットしてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷品質</td><td colspan="2">印刷品質を選択します。</td></tr>
<tr><td>エコノミー</td><td>速度優先でコピーするため、印刷が薄くなります。</td></tr>
<tr><td>標準品質</td><td>-</td></tr>
<tr><td>きれい</td><td>品質優先でコピーするため、印刷に時間がかかります。</td></tr>
<tr><td>原稿の向き</td><td colspan="2">原稿の向き（縦・横）を選択します。</td></tr>
<tr><td>原稿とじ位置</td><td colspan="2">原稿のとじ位置（左・上）を選択します。</td></tr>
<tr><td>印刷とじ位置</td><td colspan="2">印刷結果のとじ位置（左・上）を選択します。</td></tr>
</table>

項目名	説明
フチなしはみ出し量	フチなしコピーでは、原稿を印刷用紙のサイズより少し拡大し、はみ出させて印刷します。そのはみ出し量を選択します。 ［少ない］や［より少ない］は、［標準］よりはみ出し量が少なくなるため、余白ができてしまうことがあります。 少し欠ける ［標準］　［少ない］　［より少ない］
両面・乾燥時間	両面コピー時の乾燥時間を選択します。 印刷こすれが発生するときは、［長い］または［より長い］を選択してください。

■［プレビュー］

原稿の傾きがないか確認します。

■［写真コピー］

写真の焼き増しや引き伸ばしが簡単にできます。

参考

- コピーできる原稿の最小サイズは 30×40mm です。
- 写真の周囲の白い部分が認識されないことがあります。

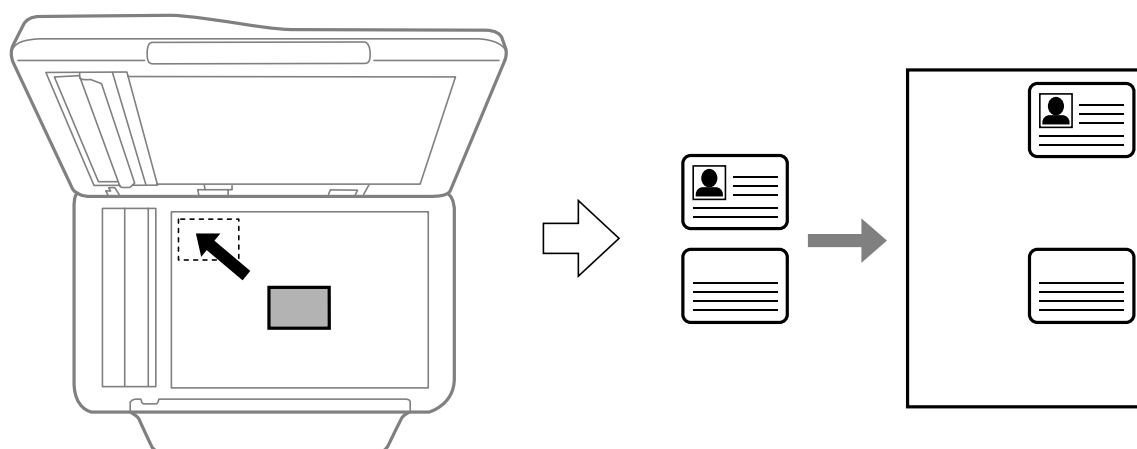
項目名	説明
退色復元	色あせた写真を復元するときは［オン］を選択します。

写真の仮スキャン後に【▼】で写真コピーメニューを表示して、項目を選択します。

項目名	説明	
表示モード	1 面表示	枚数設定、印刷開始、設定変更の項目が表示されます。
	1 面表示（写真のみ）	枚数設定、印刷開始、設定変更の項目が表示されません。

<table>
<tr><th>項目名</th><th colspan="3">説明</th></tr>
<tr><td rowspan="6">用紙とコピーの設定</td><td colspan="3">写真選択の 1 面表示で、【▼】を選択すると表示されます。</td></tr>
<tr><td>用紙サイズ</td><td colspan="2">印刷する用紙のサイズを選択します。
☞「印刷できる用紙と設定」28 ページ</td></tr>
<tr><td>用紙種類</td><td colspan="2">印刷する用紙の種類を選択します。
☞「印刷できる用紙と設定」28 ページ</td></tr>
<tr><td>給紙方法</td><td colspan="2">トレイ 1 から給紙します。</td></tr>
<tr><td>フチなし設定</td><td colspan="2">フチのあり、なしを選択します。</td></tr>
<tr><td>フチなしはみ出し量</td><td colspan="2">フチなし印刷時のはみ出し量を選択します。
［少ない］や［より少ない］は、［標準］よりはみ出し量が少なくなるため、余白ができてしまうことがあります。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">写真の色補正</td><td rowspan="3">自動画質補正</td><td colspan="2">写真画質の補正方法を選択します。</td></tr>
<tr><td>オートフォトファイン !EX</td><td>エプソン独自の画像解析、処理技術を使って自動的に高画質化します。</td></tr>
<tr><td>自動補正なし</td><td>補正しません。</td></tr>
<tr><td>フィルター</td><td colspan="2">モノクロ画像にするかを設定します。</td></tr>
<tr><td>写真ズーム</td><td colspan="3">枠の移動、拡大 / 縮小で写真の一部をズームアップして印刷できます。</td></tr>
</table>

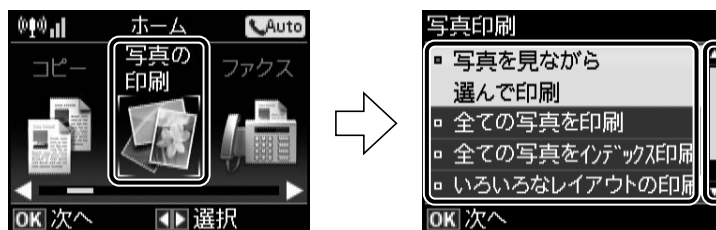
■ ［ID カードコピー］ － ［用紙とコピーの設定］

ID カードの表裏をスキャンして、A4 サイズの用紙にコピーします。

<table>
<tr><th>項目名</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td>用紙サイズ：A4</td><td colspan="2">A4 サイズの用紙にコピーするため、サイズは固定です。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">給紙方法</td><td colspan="2">給紙するトレイを選択します。</td></tr>
<tr><td>トレイ 1</td><td>対応している全ての用紙がセットできます。</td></tr>
<tr><td>トレイ 2
（PX-675F のみ）</td><td>B5 サイズ以上の普通紙のみセットできます。</td></tr>
</table>

■ ［ID カードコピー］ － ［プレビュー］

セット方法と 1 回目のスキャン画像を確認できます。

写真の印刷モード

操作パネルで、［写真の印刷］を選択し、【▲】【▼】で項目を選択します。

■ ［写真を見ながら選んで印刷］

【▼】で写真印刷メニューを表示して、項目を選択します。

項目名	説明	
写真の選択方法	写真の選択方法を選択します。	
	全ての写真を選択	全ての写真を一括で選択し、枚数設定します。
	写真の日付で選択	撮影日ごとに写真を一括で選択します。
	写真選択の解除	全ての写真の枚数を 0 に戻します。
表示モード	画面内に写真を何枚表示するかを設定します。	
	1 面表示	写真を 1 面表示します（枚数設定表示あり）。
	1 面表示（写真のみ）	1 面表示（枚数設定表示なし）
	9 面表示	写真を 9 面表示します（枚数設定表示あり）。
用紙と印刷の設定	設定の確認と変更ができます。	
	用紙サイズ	印刷する用紙のサイズ、用紙種類、給紙方法を選択します。 ☞「印刷できる用紙と設定」28 ページ
	用紙種類	
	給紙方法	
	フチなし設定	フチのあり、なしを選択します。
	印刷品質	［コピーモード］－［用紙とコピーの設定］をご覧ください。
	フチなしはみ出し量	
	日付表示	撮影日を入れて印刷できます。 • 一部のレイアウトや、撮影日情報のないデータでは日付印刷できません。 • 20 面を選択すると、自動的に日付印刷されます。 • データを保存し直すと、保存した日付で印刷されることがあります。

項目名	説明		
用紙と印刷の設定（つづき）	トリミング	トリミングするかどうかを設定します。 • パノラマ写真では設定が無効になることがあります。 • ［フチなし］・［上半分］・［下半分］のレイアウトでは、常にトリミングして印刷されます。	
		する	上下（または左右）が切り取られます。
		しない	左右（または上下）に余白ができます。
	双方向印刷	双方向で印刷するかどうかを設定します。「しない」にする（単方向印刷）と印刷品質は向上しますが、印刷速度が遅くなります。通常は「する」で印刷してください。	
写真の色補正	自動画質補正	写真画質の補正方法を選択します。	
		オートフォトファイン！ EX	エプソン独自の画像解析・処理技術を使って自動的に高画質化します。
		P.I.M.	PRINT Image Matching（プリントイメージマッチング）機能搭載のデジタルカメラが写真データに付加した、プリント情報を元にして補正します。
		自動補正なし	補正しません。
	補正モード	［自動画質補正］で［オートフォトファイン！ EX］を選択したときの補正モードを選択します。	
	赤目補正	赤く撮影された目の色の補正方法を選択します。ただし、画像によっては赤目が補正されず、赤目以外の部分が補正されてしまうこともあります。	
	フィルター	セピアまたはモノクロの画像にします。	
	明るさ調整	明るさを調整します。	
	コントラスト	明るい部分と暗い部分の差を調整します。	
	シャープネス	画像の輪郭を調整します。	
	鮮やかさ調整	鮮やかさを調整します。	
写真ズーム	写真選択の 1 面表示で［▼］ー［写真ズーム］を選択するとズーム枠が表示されます。枠の移動、大きさや向きの変更でズーム範囲を指定し、写真の一部をズームアップして印刷できます。		

■［全ての写真を印刷］－［用紙と印刷の設定］

【▼】で写真印刷メニューを表示して、項目を選択します。

項目名	説明
用紙サイズ	印刷する用紙のサイズ、用紙種類、給紙方法を選択します。 ☞「印刷できる用紙と設定」28 ページ
用紙種類	
給紙方法（PX-675F のみ）	
フチなし設定	フチのあり、なしを選択します。
印刷品質	「コピーモード」－［用紙とコピーの設定］をご覧ください。
フチなしはみ出し量	
日付表示	「写真の印刷モード」－［写真を見ながら選んで印刷］をご覧ください。
トリミング	
双方向印刷	

■［全ての写真を印刷］－［写真の色補正］

【▼】で写真印刷メニューを表示して、項目を選択します。

項目名	説明
自動画質補正	「写真の印刷モード」－［写真を見ながら選んで印刷］をご覧ください。
補正モード	
赤目補正	
フィルター	
明るさ調整	
コントラスト	
シャープネス	
鮮やかさ調整	

■［全ての写真をインデックス印刷］

メモリーカード内の写真を一覧表で印刷できます。

項目名	説明
用紙サイズ	印刷する用紙のサイズを選択します。 ☞「印刷できる用紙と設定」28 ページ
用紙種類	印刷する用紙の種類を選択します。 ☞「印刷できる用紙と設定」28 ページ
給紙方法（PX-675F のみ）	「コピーモード」－［用紙とコピーの設定］をご覧ください。

■［いろいろなレイアウトの印刷］

項目名	説明
レイアウト	レイアウトを選択します。 •［20 面］：各写真の下にコマ番号や日付が印刷されます。 •［上半分］：ハガキ（年賀状）印刷時に使うと便利です。

■［スライドショー］

メモリーカード内の写真をスライドショーで確認しながら、選択して印刷できます。
【OK】で写真を選択し【▼】で写真印刷メニューを表示して、項目を選択します。

項目名	説明	
写真の選択方法	「写真の印刷モード」－［写真を見ながら選んで印刷］をご覧ください。	
表示モード		
用紙と印刷の設定	用紙サイズ	印刷する用紙サイズを選択します。 ☞「印刷できる用紙と設定」28 ページ
	用紙種類	印刷する用紙の種類を選択します。 ☞「印刷できる用紙と設定」28 ページ
	給紙方法	「コピーモード」－［用紙とコピーの設定］をご覧ください。
	フチなし設定	余白（フチ）の有無を設定します。
	印刷品質	「コピーモード」－［用紙とコピーの設定］をご覧ください。
	フチなしはみ出し量	「コピーモード」－［用紙とコピーの設定］をご覧ください。
	日付表示	「写真の印刷モード」－［写真を見ながら選んで印刷］をご覧ください。
	トリミング	
	双方向印刷	
写真の色補正	自動画質補正	「写真の印刷モード」－［写真を見ながら選んで印刷］をご覧ください。
	補正モード	
	赤目補正	
	フィルター	
	明るさ調整	
	コントラスト	
	シャープネス	
	鮮やかさ調整	
写真ズーム	「写真の印刷モード」－［写真を見ながら選んで印刷］をご覧ください。	

■［写真コピー］

「コピーモード」－［写真コピー］をご覧ください。

ファクスモード

【◀】【▶】で［ファクス］を選択し、【▼】でファクスメニューを表示して項目を選択します。

■［ファクス設定］

項目名	説明	
ファクス送信設定	［セットアップメニュー］からも設定できます。	
	画質	文字と写真が混在した原稿では［きれい］をお勧めします。原稿の内容や画質によって送信時間は異なります。
	濃度	－４～＋４の間で設定します。
	両面設定	ADF にセットした原稿が両面（オン）か片面（オフ）かを設定します。カラーで送信したいときや原稿台にセットした原稿を送信するときは［オフ］にしてください。
時刻指定送信	時刻を指定して送信（モノクロのみ）します。 ☞「時刻指定送信」45 ページ	
順次同報送信	複数の宛先に一括して送信（モノクロのみ）します。 ☞「順次同報送信」46 ページ	
ポーリング受信	相手側ファクスに蓄積された原稿が受信できます。 ☞「ポーリング受信」49 ページ	
レポート印刷	ファクス機能設定リスト	送受信と回線の、現在の設定値を印刷します。
	通信管理レポート	送受信結果の一覧を印刷または表示します。
	通信結果レポート	最後のファクス送信またはポーリング受信の、通信結果を印刷します。
	アドレス帳リスト	リストを一覧印刷します。
	短縮ダイヤルリスト	
	グループダイヤルリスト	
	受信文書再印刷	本製品のメモリーに蓄積されているファクスデータを、日付の新しい順に印刷します。蓄積されたデータが本製品のメモリー容量を超えると、古い順から自動的に削除されます。
	プロトコルログ	最後に送受信したファクスの詳細な通信レポートを印刷します。

スキャンモード -[スキャン機能]

【◀】【▶】で［スキャン］を選択し、【◀】【▶】で項目を選択します。

項目名	説明
スキャンしてメモリーカードに保存	•［スキャンして送信メールでリモート印刷］以外： 写真や雑誌などの印刷物をスキャンして、メモリーカードやパソコンに保存できます。 ☞「スキャンモード」50 ページ •［スキャンして送信メールでリモート印刷］： スキャンしたデータを E メールに添付して、Epson Connect であらかじめ登録した宛先に送信できます。この機能を使うには Epson Connect の設定が必要です。詳細は以下をご覧ください。 ☞『Epson Connect ガイド』（電子マニュアル）
スキャンして送信メールでリモート印刷	
スキャンしてパソコンへ	
スキャンしてパソコンへ（PDF）	
スキャンしてパソコンへ（E メール）	

セットアップモード

【◀】【▶】で［セットアップ］を選択し、【▲】【▼】で項目を選択します。
プリンターのお手入れや、操作パネルの表示方法などの各種設定ができます。

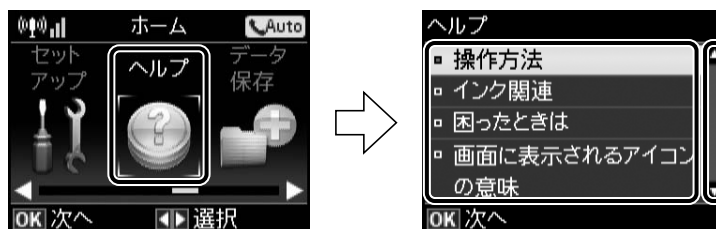
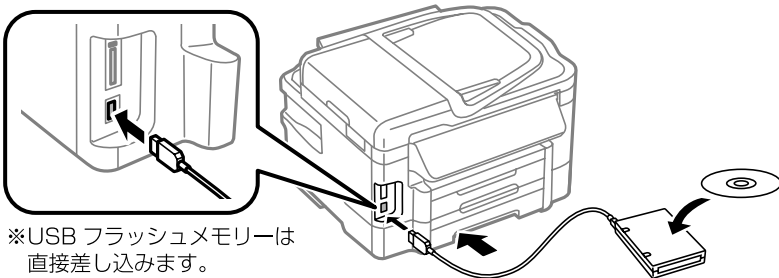
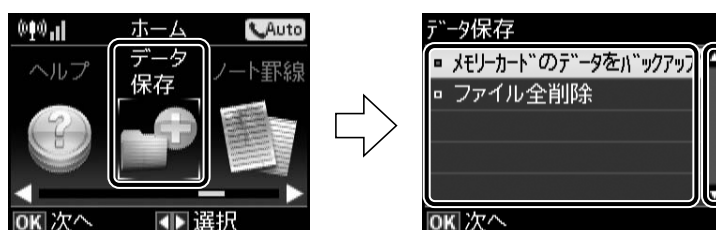
項目名	説明	
インク残量の表示	インク残量（表示は目安）が確認できます。	
	⚠	インクが少なくなると表示されます。しばらくは印刷できますが、早めに新しいインクカートリッジを用意してください。
	⊗	インク残量が限界値以下になると表示されます。
プリンターのお手入れ	プリントヘッドのノズルチェック	プリントヘッドのノズル（インク吐出孔）が詰まっているかどうかを確認します。 ☞「ノズルチェックとヘッドクリーニング」55 ページ
	プリントヘッドのクリーニング	プリントヘッドのノズルをクリーニングして、目詰まりを解消させます。 ☞「ノズルチェックとヘッドクリーニング」55 ページ

項目名	説明	
プリンターのお手入れ（つづき）	プリントヘッドのギャップ調整	プリントヘッドのギャップ（ずれ）を調整します。印刷結果がぼやけるときや、文字や罫線がガタガタになるときにお試しください。 • ギャップ調整パターン印刷中に給紙機構の動作音がしても故障ではありません。 • 実行しても改善されないときは、パソコンと接続し、プリンタードライバーからのギャップ調整をお試しください。 ☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）-「メンテナンス」-「印刷のずれ（ギャップ）調整」
	インクカートリッジ交換	インクカートリッジを交換します。 ☞「インクカートリッジの交換」53 ページ
プリンターの基本設定	音の設定	操作音やエラー音などのオン・オフ、および音量を設定します。
	スクリーンセーバー設定	［メモリーカード内の写真］にすると、最終操作の約 3 分後に液晶ディスプレイに写真が順次表示されます。
	スリープ移行時間設定	プリンターを最後に操作してからスリープモードに移行するまでの時間を設定します。設定した時間になるとディスプレイが暗くなります。
	日付 / 時刻設定	日時や時刻を設定します。 ☞『準備ガイド』-「日時の設定」
	言語選択 /Language	操作パネルに表示される言語を選択します。
ネットワーク設定	ネットワーク関連の設定をします。 • 設定中に電源を切ったり、電源プラグを抜いたりしないでください。正常に動作しなくなるおそれがあります。 • メモリーカードアクセス中はネットワーク設定をしないでください。アクセスが中断することがあります。	
	無線 LAN 設定	無線 LAN に関連するメニューを表示します。
	ネットワーク基本設定	プリンター名や TCP/IP などのネットワークを設定します。
	ネットワーク接続診断	接続状態を診断します。診断結果を印刷すると、詳細な情報が確認できます。診断結果の見方は以下をご覧ください。 ☞『ネットワークガイド』（電子マニュアル）ー「トラブル解決」ー「エラーメッセージが表示される」
	ネットワーク情報確認	設定や接続状態を確認できます。ネットワークステータスシートを印刷すると詳細な情報を確認できます。
Epson Connect 設定	Epson Connect 情報確認	登録や接続状態を確認できます。
	プリンターの E メールアドレス	登録されたアドレスを確認できます。
	サービス利用の一時停止 / 再開	一時停止や再開を設定します。
	購入時の設定に戻す	Epson Connect の登録を削除します。 ☞『Epson Connect ガイド』（電子マニュアル）
Google クラウド プリント設定	Google クラウド プリント情報確認	登録や接続状態を確認できます。
	サービス利用の一時停止 / 再開	一時停止や再開を設定します。
	購入時の設定に戻す	Google クラウド プリントの登録を削除します。 ☞『Epson Connect ガイド』（電子マニュアル）

<table>
<tr><th>項目名</th><th colspan="3">説明</th></tr>
<tr><td>ファイル共有設定</td><td colspan="3">接続しているパソコンからメモリーカードや外部記憶装置のファイルへのアクセス方法を設定します。優先した接続形態からは読み書きが、他方は読み取りのみが可能です。</td></tr>
<tr><td rowspan="18">ファクス設定</td><td colspan="3">送受信の設定をします。回線設定は、回線や通信の設定をします。
ファクス機能診断では、電話回線との接続状態などを A4 サイズの普通紙に印刷して確認できます。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ファクス送信設定</td><td>画質</td><td rowspan="3">「ファクスモード」－［ファクス設定］をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>濃度</td></tr>
<tr><td>両面設定</td></tr>
<tr><td>結果レポート</td><td>送信結果を印刷します。［エラー時のみ］を選択するとエラー送信の内容のみ印刷します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ファクス受信設定</td><td>自動受信</td><td>［する・しない］を設定します。</td></tr>
<tr><td>給紙方法</td><td>「コピーモード」－［用紙とコピーの設定］をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>自動縮小印刷</td><td>受信データのサイズが用紙サイズより長いときに、縮小印刷するかどうかを設定します。ただし、データによっては縮小できないことがあります。</td></tr>
<tr><td>ファクス出力設定</td><td>印刷するか、パソコンに保存するかを設定します。初期値は［印刷］です。［保存］（パソコンに受信）するにはパソコンから Fax Utility で設定します。詳細は『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）-「ファクス」-「ファクス受信の基本」をご覧ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">ファクス回線設定</td><td>エラー訂正（ECM）</td><td>回線トラブルを自動的に修復するECM機能を有効にするかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td>ファクス通信モード</td><td>通信の開始速度を設定します。通信エラーが頻繁に起こるときや、海外または IP 電話環境で通信するときは、［確実(G3)］をお勧めします。</td></tr>
<tr><td>呼び出し回数</td><td>着信してからファクスを受信するまでの呼び出し回数（1 ～ 15）を設定します（初期値は 5）。回数を多くしすぎると、送信側の設定によっては受信できないことがあります。
「呼び出し回数」39 ページ</td></tr>
<tr><td>ダイヤルトーン検出</td><td>ダイヤルトーンを検出してからダイヤルを開始するかどうかを設定します。［する］を選択すると、早く確実にダイヤルできます。ダイヤルできないときは［しない］にしてください。ただし、環境によっては番号の最初が抜けるなど、誤った番号に接続される可能性があります。</td></tr>
<tr><td>回線種別</td><td>電話機のダイヤルボタンを押したときに「ピッポッパッ」という音がするタイプは［プッシュ］を、「カタカタカタ」や「ジージージー」という音がするタイプは［ダイヤル(10PPS または 20PPS)］を選択してください。
「回線種別」40 ページ</td></tr>
<tr><td>自局設定</td><td>自局名と自局番号を設定します。自局名はソフトキーで、自局番号はテンキー（数字キー）で入力します。ソフトキーの使い方は以下を参照してください。
「文字の入力」68 ページ
自局名で 40 文字、自局番号で 20 文字まで入力できます。
「自局設定」40 ページ</td></tr>
</table>

項目名	説明		
ファクス設定（つづき）	セキュリティ設定	バックアップデータ自動消去	メモリーに蓄積されたデータが本製品のメモリー容量を超えると、古い順から自動的に削除します。
		バックアップデータを消去	本製品のメモリーに蓄積されているファクスデータを全削除します。
	ファクス機能診断	電話回線との接続状態などを A4 サイズの普通紙に印刷します。問題があったときは、診断レポートに記載されている対処方法をお試しください。	
外部機器印刷設定	外部機器（デジタルカメラなど）からの印刷に関する設定をします。		
本体ステータスシートの印刷	カラーまたはモノクロで印刷した用紙の総枚数やスリープモード移行時間などの情報が確認できます。		
購入時の設定に戻す	それぞれの設定値を購入時の状態（メーカー設定値）に戻します。		

ヘルプ

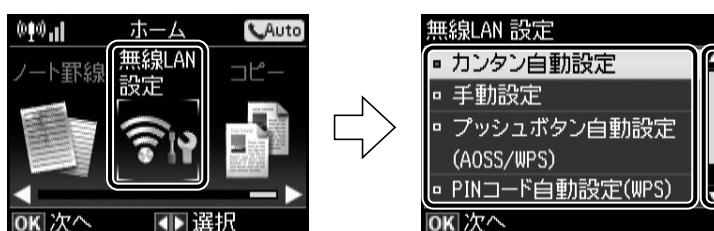
【◀】【▶】で［ヘルプ］を選択し、【▲】【▼】で項目を選択します。
操作方法がわからないときや、思うように印刷できないときにご覧ください。

データ保存モード

【◀】【▶】で［データ保存］を選択し、【▲】【▼】で項目を選択します。
メモリーカード内のデータを、パソコンを介さずに外部記憶装置（ハードディスクや USB フラッシュメモリーなど）に保存します。
サポートしている外部記憶装置の種類は、以下のページをご覧ください。
☞「外部記憶装置」71 ページ

項目名	説明
メモリーカードのデータをバックアップ	外部記憶装置を接続してから、データ保存モード - ［メモリーカードのデータをバックアップ］を選択します。写真データはフォルダー単位で保存されます。 ディスクにバックアップするときは書き込み速度が変更できます。 【▼】―［書き込み速度］
ファイル全削除	パソコンを介さずに、メモリーカード内の全ファイルを削除します。個別の画像削除はできません。

ノート罫線印刷モード

【◀】【▶】で［ノート罫線］を選択し、【◀】【▶】で項目を選択します。

メモリーカードの写真を背景に入れて便箋などが作れます。A4 普通紙に印刷できます。

無線 LAN 設定モード

【◀】【▶】で［無線 LAN 設定］を選択し、【▲】【▼】で項目を選択します。

項目名	説明
カンタン自動設定	パソコンの無線 LAN 設定を使って、プリンターとパソコンを直接通信してネットワーク設定を行います。
手動設定	SSID（無線ネットワーク名）、暗号化などのセキュリティーキーをご自分でプリンターに入力してネットワークを設定します。事前にネットワーク情報が必要です。
プッシュボタン自動設定（AOSS/WPS）	アクセスポイントの【AOSS】または【WPS】で無線 LAN の設定をします。
PIN コード自動設定（WPS）	本製品に割り振られた8桁の数字をアクセスポイントまたはパソコンに登録して、無線LANの設定をします。
ネットワーク情報確認	設定・接続状態が確認できます。ステータスシートを印刷すると詳細な情報を確認できます。
無線 LAN を無効にする	無効にすると、有線 LAN の接続が有効になります。

セット方法

印刷用紙

よりきれいに印刷するためにエプソン製専用紙（純正品）のご使用をお勧めします。セット可能枚数を超えてセットしないでください。以下は 2012 年 7 月現在の情報です。

印刷できる用紙と設定

■ エプソン専用紙（純正品）

	用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数		用紙種類の設定		印刷できる面
			トレイ	手差し給紙 *1	コピー	写真の印刷	
写真用紙 *3	写真用紙クリスピア＜高光沢＞ *2	L 判・KG サイズ・2L 判	20 枚	×	EPSON クリスピア		より光沢のある面のみ
		六切・A4		1 枚			
	写真用紙＜光沢＞	L 判・KG サイズ・2L 判・ハイビジョンサイズ	20 枚	×	写真用紙		
		六切・A4	20 枚	1 枚			
	写真用紙＜絹目調＞	L 判・2L 判	20 枚	×			
		A4	20 枚	1 枚			
	写真用紙エントリー＜光沢＞	L 判・KG サイズ・2L 判	20 枚	× 枚	写真用紙エントリー		
		A4	20 枚	1 枚			
光沢紙 *2*3	フォト光沢紙	A4	20 枚	1 枚	フォト光沢紙		
マット紙 *3	スーパーファイン紙	A4	80 枚	1 枚	スーパーファイン紙	×	より白い面のみ
	フォトマット紙	A4	20 枚	1 枚	フォトマット紙		
普通紙	両面上質普通紙＜再生紙＞	A4	200 枚 *4	1 枚	普通紙		両面
ハガキ *3	スーパーファイン専用ハガキ	ハガキ	50 枚	×	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便 IJ ハガキ		両面
バラエティー用紙 *3	スーパーファイン専用ラベルシート	A4	1 枚	1 枚	スーパーファイン紙	×	白い面のみ

*1: パソコンからの印刷時のみ対応
*2: パッケージに入っているクリーニングシートは使用できません。
*3: トレイ 2 は非対応
*4: 片面に印刷済みの用紙は 30 枚まで

■ 市販の用紙

	用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数		用紙種類の設定		印刷できる面
			トレイ	手差し給紙 *1	コピー	写真の印刷	
普通紙	コピー用紙・事務用普通紙	A4・B5・A5*1・Letter*1	用紙ガイドの上限まで *2 ▽マーク下の線を超えない	1 枚	普通紙		両面
		A6*1*3		×			
		Legal*1	30 枚	1 枚			
		ユーザー定義サイズ *1*7	1 枚	1 枚			
厚紙 *1	厚紙	A4・Letter・ユーザー定義サイズ *7	×	1 枚	×		任意の面
ハガキ *3*4*5	郵便ハガキ	ハガキ	50 枚	×	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便 IJ ハガキ		両面
	郵便ハガキ（インクジェット紙）	ハガキ	50 枚	×			
	往復ハガキ *7	往復ハガキ	30 枚	×	×		
封筒 *1*3	封筒 *7	長形 3 号・4 号	10 枚	1 枚	×		両面
		角形 20 号	×	1 枚	×		
		洋形 *61 号・2 号・3 号	10 枚	×	×		宛名面のみ
		洋形 *64 号	10 枚	1 枚	×		

*1: パソコンからの印刷時のみ対応
*2: 片面に印刷済みの用紙は 30 枚まで
*3: トレイ 2 は非対応
*4: 郵便事業株式会社製
*5: 郵便光沢ハガキ<写真用>は対応していません。
*6: 印刷時はデータを 180 度回転して印刷してください（Mac OS X のみ）。
*7: パソコンからの印刷時のみ対応
Legal サイズより長い用紙は、手差し給紙にセットしてください。

！重要

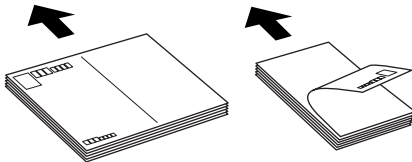
手差し給紙は、厚さが 0.08 ㎜～ 0.26 ㎜までの用紙に対応しています。この範囲内であっても硬さによっては正しく給紙されないことがあります。

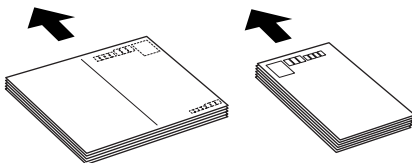
■ 用紙のセット方向

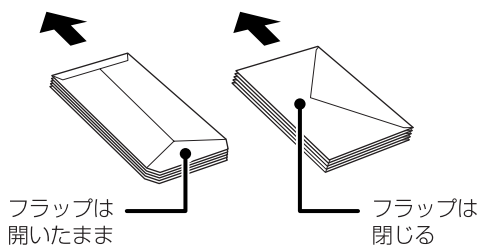
用紙は以下の向きにセットします。

用紙トレイ

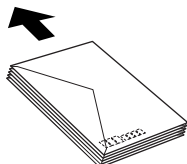
ハガキ（宛名面）

印刷する面は下

ハガキ（通信面）

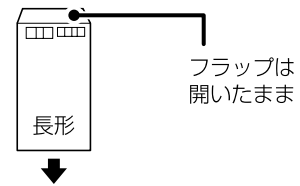
印刷する面は下

封筒（宛名面）

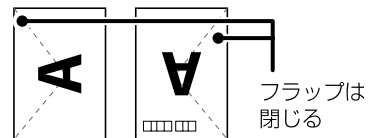
印刷する面は下

参考

- Mac OS X で洋形封筒に印刷するときは、ご使用のソフトウェアの設定画面で印刷データを 180 度回転させてから印刷してください。回転方法は、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- 洋形宛名面に縦書きするときは、郵便番号枠を下の図のようにセットしてください。

印刷する面は下

手差し給紙

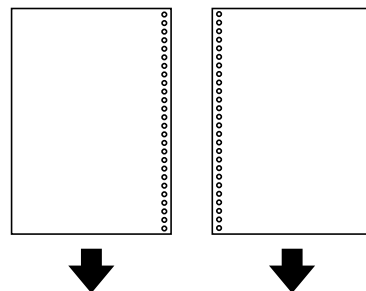
封筒（宛名面）

印刷する面は上

洋形
横書き

洋形
縦書き

フラップ側を
左に向ける

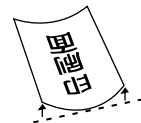
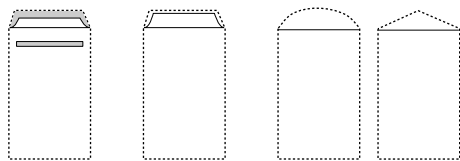
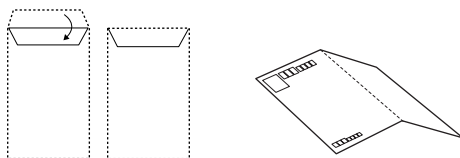
郵便番号枠は
下に向ける

穴あき用紙（手差し給紙のみ）

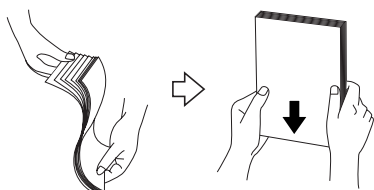
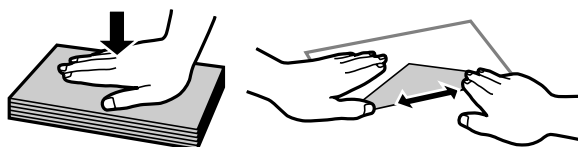
穴の位置は左右どちらでも
セットできる

穴位置にかからないように印刷データを調整してください。

■ 印刷できない用紙

次のような用紙は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

- 波打っている、破れている、切れている、折りがある、湿っている用紙や反っている、丸まっている、シールなどが貼ってある用紙

- のり付けおよび接着の処理が施された封筒、二重封筒、窓付き封筒やフラップが円弧や三角形状の長形封筒や角形封筒

- フラップを一度折った長形封筒や一度折った往復ハガキ

- 写真店などでプリントした写真ハガキや絵ハガキなど、厚いハガキ（ただし手差し給紙のみ印刷可）

■ 取り扱い上のご注意

- 用紙のパッケージやマニュアルなどに記載されている注意事項をご確認ください。
- 用紙を複数枚セットするときは、よくさばいて紙粉を落とし、側面を整えてください。ただし、写真用紙はさばいたり、反らせたりしないでください。印刷する面に傷が付くおそれがあります。

- 封筒をセットするときは、よくさばいて側面を整えてください。膨らんでいるときは平らになるように手でならし、膨らみを取り除いてください。

- ハガキへの両面印刷は、片面印刷後しばらく乾かし、反りを修正して（平らにして）からもう一方の面に印刷してください。宛名面から先に印刷することをお勧めします。

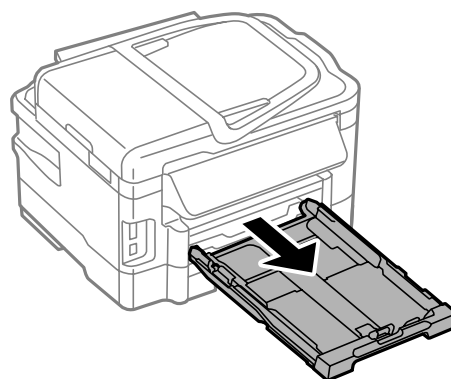
印刷用紙のセット

用紙をセットする向きは以下をご覧ください。
☞「用紙のセット方向」30 ページ

ここではトレイ 1 の用紙セットを例で説明しますが、トレイ 2 への用紙セット方法も同様です（PX-675F のみ）。

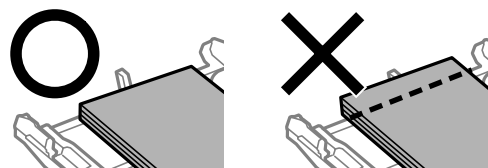
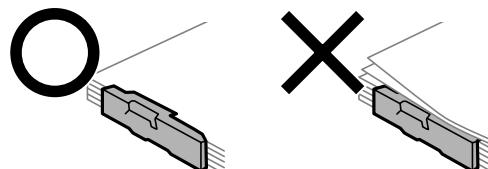
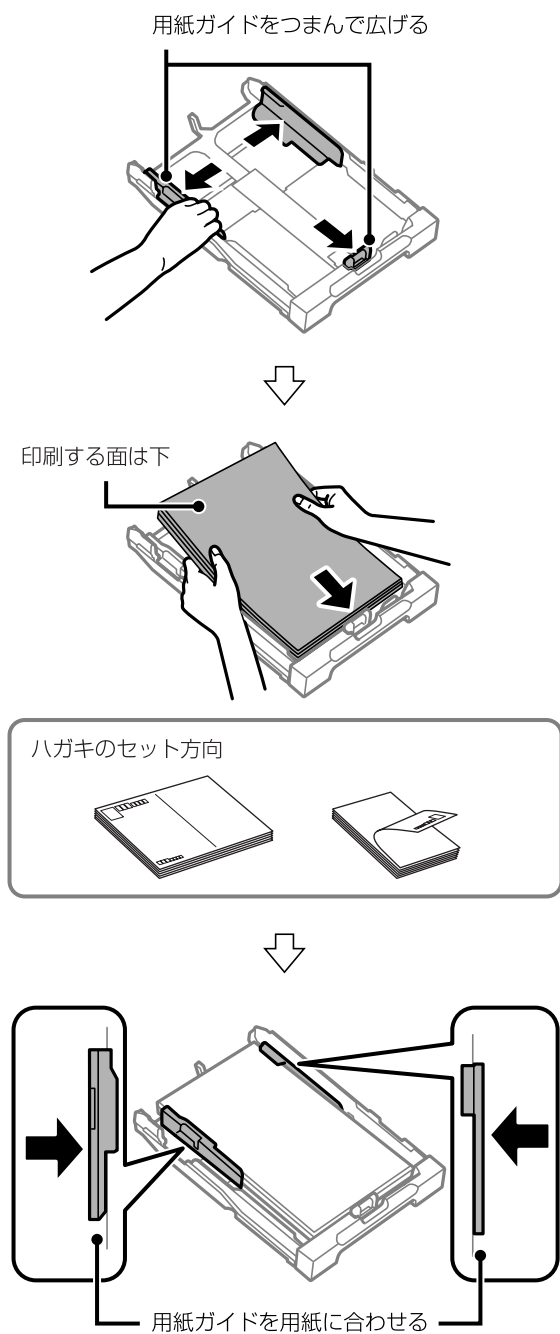
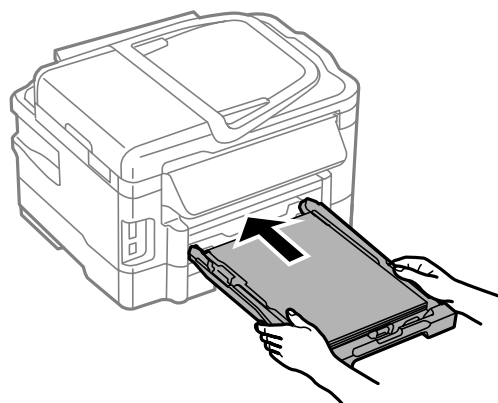
■ トレイ 1/ トレイ 2（PX-605F は非対応）

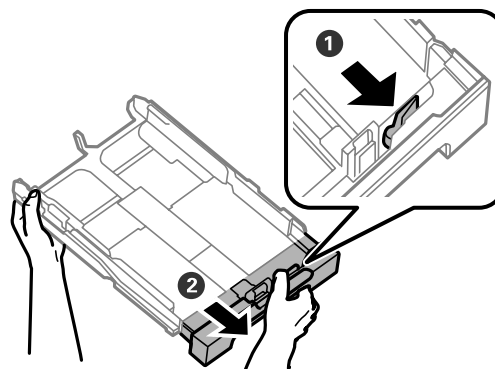
1 **用紙トレイを抜きます。**

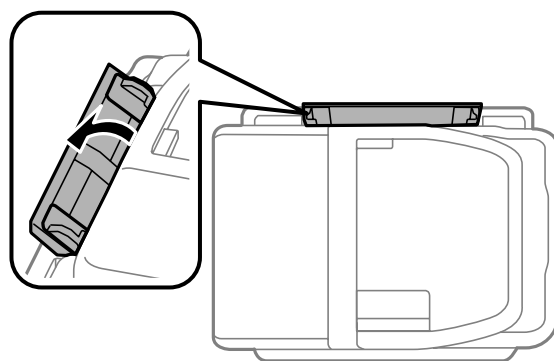
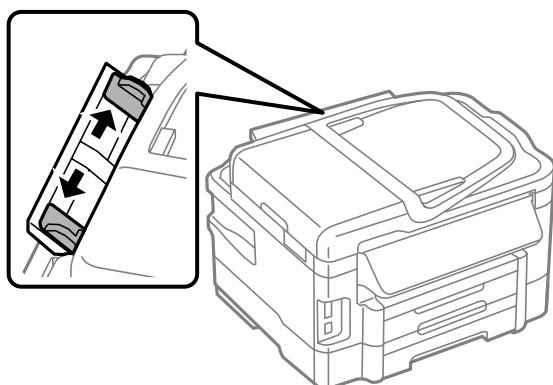
動作中は用紙トレイを抜き差ししないでください。

2 **用紙をセットします。**

セットできる用紙種類やサイズは、給紙装置によって異なります。
☞「印刷できる用紙と設定」28 ページ

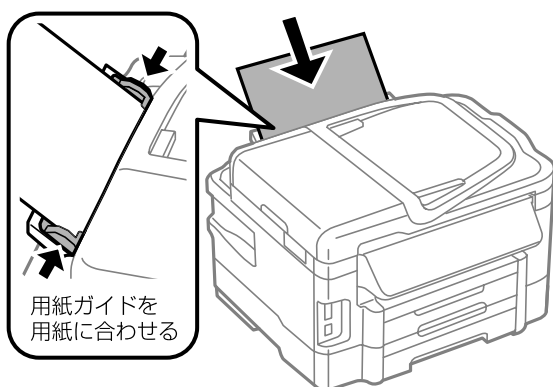
！重 要

トレイの先端や枚数を超えないでください。
（A） 先端の線を超えない
（B） 最大セット枚数を超えない

3 用紙トレイをセットします。

参考

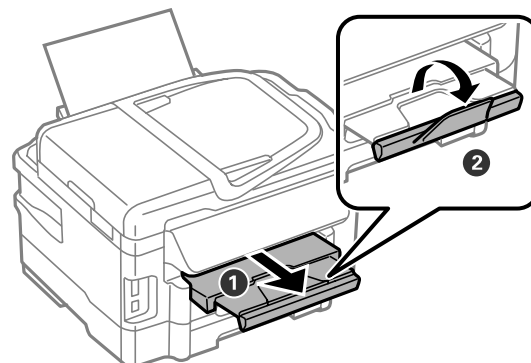
Legal サイズの用紙は、左手で用紙トレイを押さえながら、右手で①の部分を押して、用紙トレイを手前に引き伸ばします。

■ 手差し給紙

1 手差し給紙を開けます。

2 **用紙ガイドを広げて、用紙のサイズに合わせます。**

3 **用紙をセットし、用紙ガイドを用紙に合わせます。**

用紙をセットすると、用紙が自動で給紙されます。

セットできる用紙種類やサイズは、給紙装置によって異なります。
☞「印刷できる用紙と設定」28 ページ

参考

穴あき用紙（A4・A5・B5・Letter・Legal）がセットできます。

4 **排紙トレイを引き出します。**

参考

用紙をセットしてから 5 分以上データを送らないと、自動で排紙されます。

以上で終了です。

メモリーカード

セット方法

対応しているメモリーカードは 2012 年 7 月現在の情報です。最新情報はエプソンのホームページ「よくあるご質問（FAQ）」でご確認ください。
< http://www.epson.jp/faq/ >

セット位置	使用できるメモリーカードの種類		サポートする最大容量
点滅 点灯 点滅中は取り出さない		メモリースティック Duo	128MB
		メモリースティック PRO Duo	32GB
		メモリースティック PRO HG Duo	
		マジックゲートメモリースティック Duo	128GB
		メモリースティック マイクロ *	32GB
		miniSD カード *	2GB
		miniSDHC カード *	32GB
		microSD カード *	2GB
		microSDHC カード *	32GB
		microSDXC カード *	64GB
		マルチメディアカードマイクロ *	32GB
		マルチメディアカードモバイル *	32GB
		SD メモリーカード	2GB
		SDHC メモリーカード	32GB
		SDXC メモリーカード	64GB
		マルチメディアカード	32GB
		マルチメディアカードプラス	

*: 「そのままセットできるメモリーカード」と同じサイズになる専用アダプターを用意してください。
装着せずにセットすると、カードが取り出せなくなるおそれがあります。

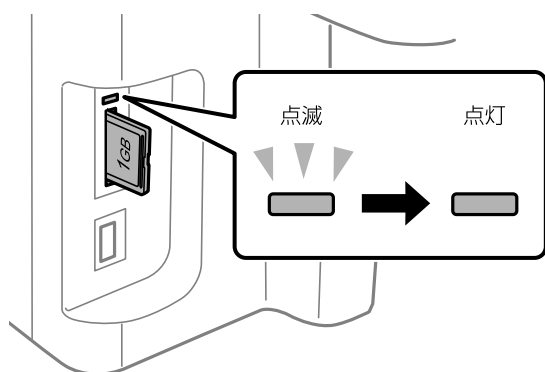
メモリーカードの取り出し

重要

ランプ点滅中（通信中）に取り出すと、保存されているデータが壊れるおそれがあります。

参考

パソコンでメモリーカードドライブとして使用しているときは、以下を参照して取り出してください。
☞『ユーザーズガイド』-（電子マニュアル）-「その他の機能」-「共有ドライブとしての使い方」

ランプが点灯していることを確認してから、取り出します。

原稿

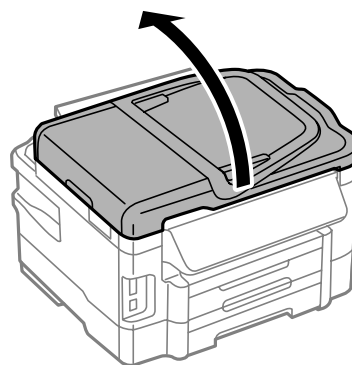
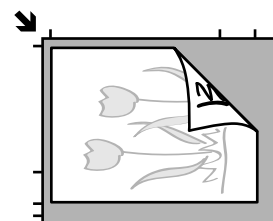
原稿台へのセット

⚠注意

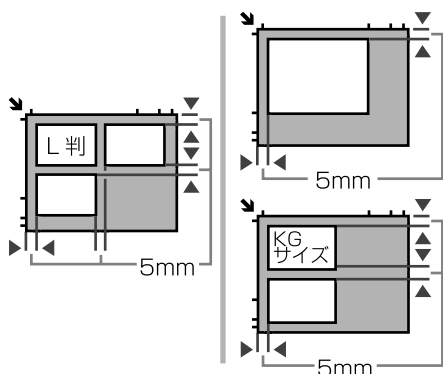
原稿カバーは、指を挟まないように注意しながら、ゆっくり開閉してください。

重要

厚い雑誌などのコピー、スキャンを行うときは、原稿台に蛍光灯の光が直接入らないようにしてください。

1 原稿カバーを開け、原稿台や原稿カバーなどのゴミや汚れを取り除いてから原稿をセットします。

原稿

原稿面は下

原稿台の上端から 1.5mm、左端から 1.5mm の範囲はスキャンできません。

写真コピー時

正常にコピーできないときは 1 枚ずつセットしてください。

2 **原稿カバーを閉じます。**

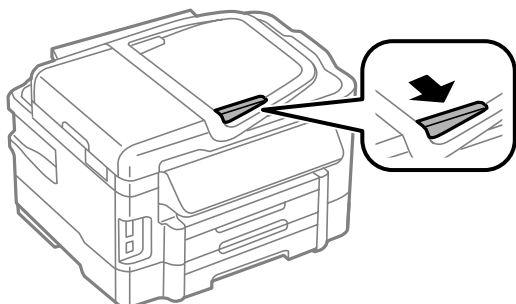
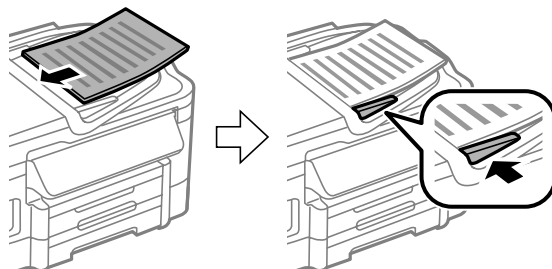
以上で終了です。

ADF へのセット

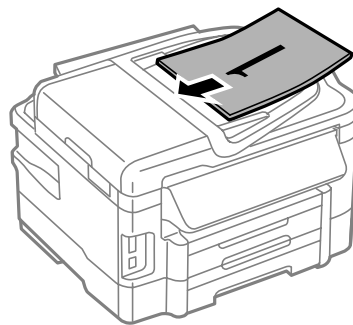
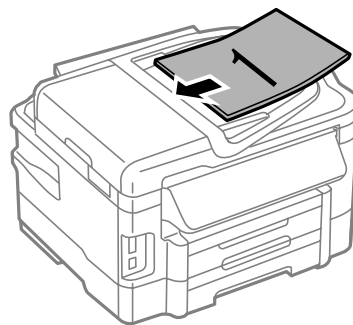
セットできる原稿は、A4・Letter・Legal サイズの普通紙です。ファクスとコピーは A4 サイズのみ対応しています。A4・Letter サイズは両面スキャンができます。
複数枚の原稿をセットするときは、側面を整えてください。また、スキャン中に原稿を追加しないでください。

！重要

以下のような原稿は紙詰まりの原因になります。
- 折り目やしわがある、破れている、反っている原稿
- のり・ステープラー・クリップなどが付いている原稿
- 写真・シール・ラベルなどが貼られている原稿
- 形が不規則、裁断角度が直角でない原稿
- ルーズリーフのように穴が開いていたり、とじられて（製本されて）いたりする原稿
- 透明・半透明な原稿（OHP シートなど）や裏カーボンのある原稿
- 薄すぎる、厚すぎる、光沢がある、劣化している原稿

1 **ADF の用紙ガイドを広げます。**

2 **スキャンする面を上にしてセットし、用紙ガイドを用紙の側面に合わせます。**

参考

2 枚の原稿を 1 枚の用紙にコピー（2 アップ）するときは、原稿の向きを下図のようにセットしてください。

原稿を縦向きにセット：
コピーモード－「用紙とコピーの設定」－「原稿の向き」を［縦］に設定

原稿を横向きにセット：
コピーモード－「用紙とコピーの設定」－「原稿の向き」を［横］に設定

以上で終了です。

各モードの使い方

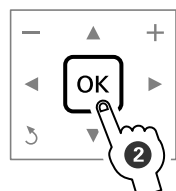
コピーモード

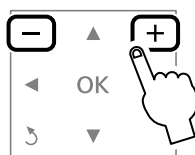
コピーの手順は以下です。

1 **原稿と印刷用紙をセットします。**

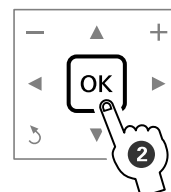
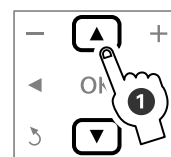
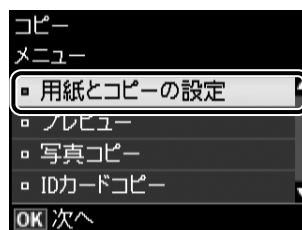
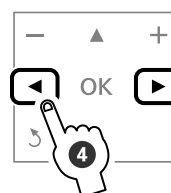
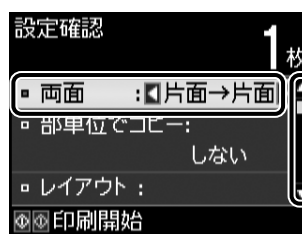
☞「原稿」35 ページ
☞「印刷用紙のセット」31 ページ

複数枚の原稿をコピーする場合（両面コピーなど）は、ADF に全ての原稿 * をセットしてください。
* 最大セット枚数を超えない。
☞「ADF 部」70 ページ

2 **［コピー］を選択します。**

3 **枚数を設定します。**

【-】【+】で数字が変わります。長押しすると、早送りができます。

［コピー濃度］は【◀】【▶】で調整します。

4 **必要に応じてコピー設定をします。**

【▼】を押して［用紙とコピーの設定］を選択します。

【戻る】: 1 つ前の画面に戻る
【ホーム】: ホーム画面に戻る（設定した内容は保持されます）

設定項目の詳細は以下をご覧ください。
☞「設定項目の説明」14 ページ

5 **モノクロまたはカラーの【スタート】を押してコピーを開始します。**

【ストップ / リセット】: コピーの中止

「写真コピー」をするときは、操作パネルで［コピー］－【▼】－［写真コピー］の順に選択後、画面の指示に従って操作してください。

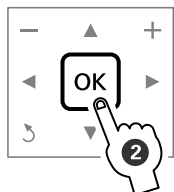
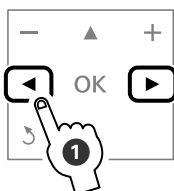
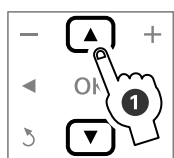
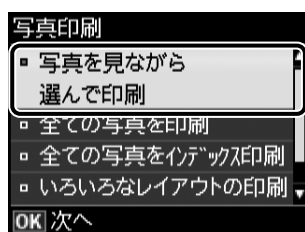
以上で終了です。

写真の印刷モード

1 **印刷用紙とメモリーカードをセットします。**

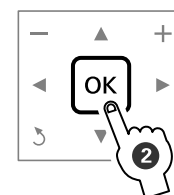
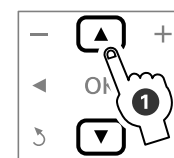
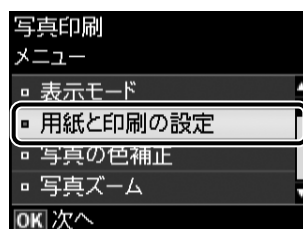
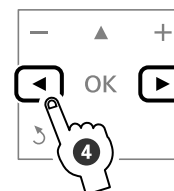
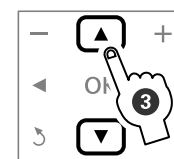
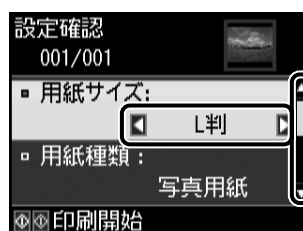
「印刷用紙のセット」31 ページ
「セット方法」34 ページ

外部記憶装置（ハードディスクや USB フラッシュメモリーなど）から印刷するときは、メモリーカードを取り外してください。
［フォルダー選択］画面が表示されたら、印刷したい写真が含まれているフォルダーを選択します。

2 **［写真の印刷］を選択します。**

3 **［写真を見ながら選んで印刷］を選択します。**

4 **印刷したい写真を選択し、印刷枚数を設定します。**

複数の写真を選ぶときは ❶ と ❷ を繰り返します。

5 **必要に応じて写真の印刷設定をします。**

【▼】を押して、印刷設定（用紙サイズや用紙種類など）を変更します。

変更する項目を選択し、設定値を選択します。

【OK】を押しても設定値の表示ができます。

【戻る】：1 つ前の画面に戻る
【ホーム】：ホーム画面に戻る（設定した内容は保持されます）

設定項目の詳細は以下をご覧ください。
「設定項目の説明」14 ページ

6 モノクロまたはカラーの【スタート】を押して印刷を開始します。

【ストップ / リセット】：印刷の中止

以上で終了です。

ファクスモード

ファクスの準備

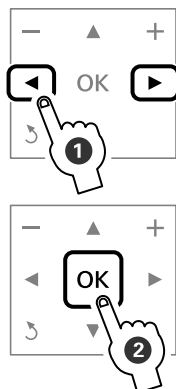
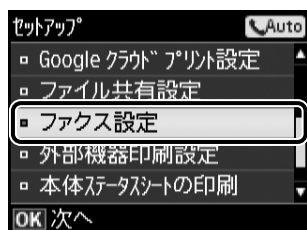
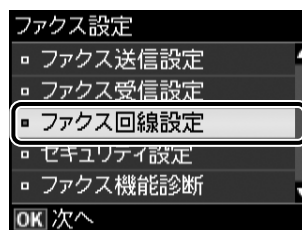
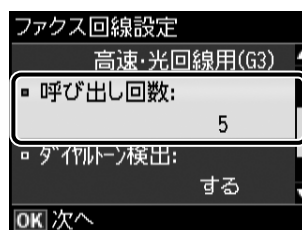
■ ファクス機能を使うために

初めてファクスを使うときや、設定を変更するときは、以下を確認してください。

- 呼び出し回数
- 回線種別
- 自局設定

呼び出し回数

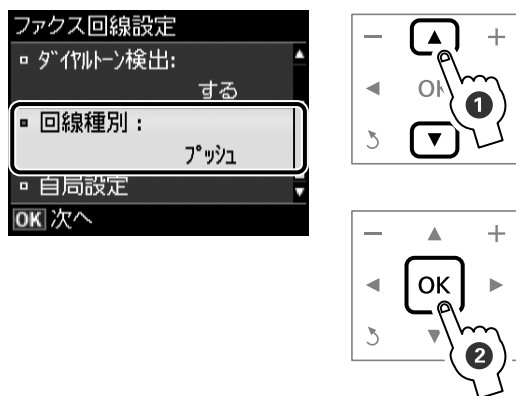
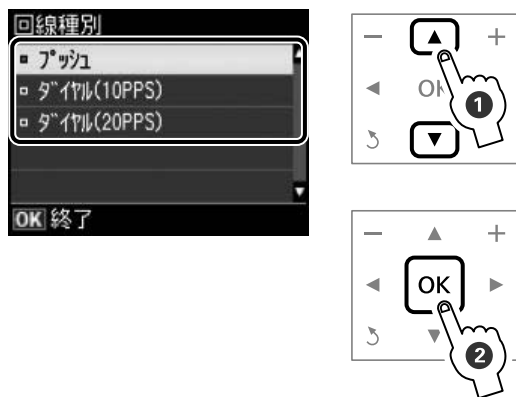
ファクス受信するまでの呼び出し回数を設定します。

1 ［セットアップ］を選択します。

2 ［ファクス設定］を選択します。

3 ［ファクス回線設定］を選択します。

4 ［呼び出し回数］を選択します。

5 呼び出し回数を設定します。

以上で終了です。

回線種別

ファクス通信するための回線を設定します（初回の送信時に自動で設定されます）。自動で設定されないときや、電話回線を変更したときは、以下の手順で変更してください。

1 「呼び出し回数」の手順 4 の画面で、[回線種別] を選択します。

2 使用している回線を選択します。

［プッシュ］
電話をかけるときに「ピッポッパ」と音がする回線（プッシュ回線）を使用しているときに選択します。

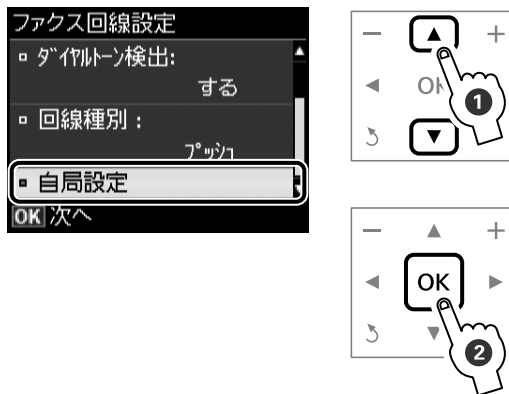
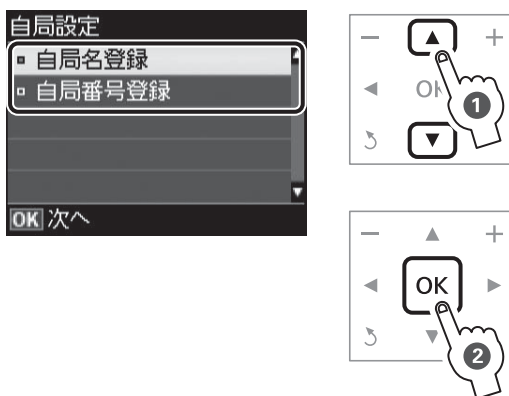
［ダイヤル（10PPS）］/［ダイヤル（20PPS）］
電話をかけるときに「カタカタ」または「ジージー」と音がする回線（ダイヤル回線）を使用しているときに選択します。

回線種別がわからないときは、［プッシュ］→［ダイヤル（10PPS）］→［ダイヤル（20PPS）］の順に設定を変えて通信できるか試してみてください。

以上で終了です。

自局設定

自局名と自局番号を設定します。

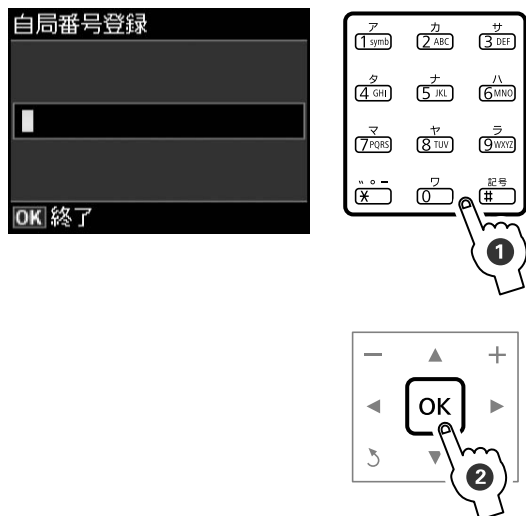
1 ［セットアップ］ー［ファクス設定］-［ファクス回線設定］ー［自局設定］の順に選択します。

2 自局名を登録するときは［自局名登録］を、自局番号を登録するときは［自局番号登録］を選択します。

3 名前または番号を入力します。

入力できる文字種は以下のページをご覧ください。
☞「文字の入力」68 ページ

自局名登録

40 文字まで入力できます。

自局番号登録

20 文字まで入力できます。

以上で終了です。

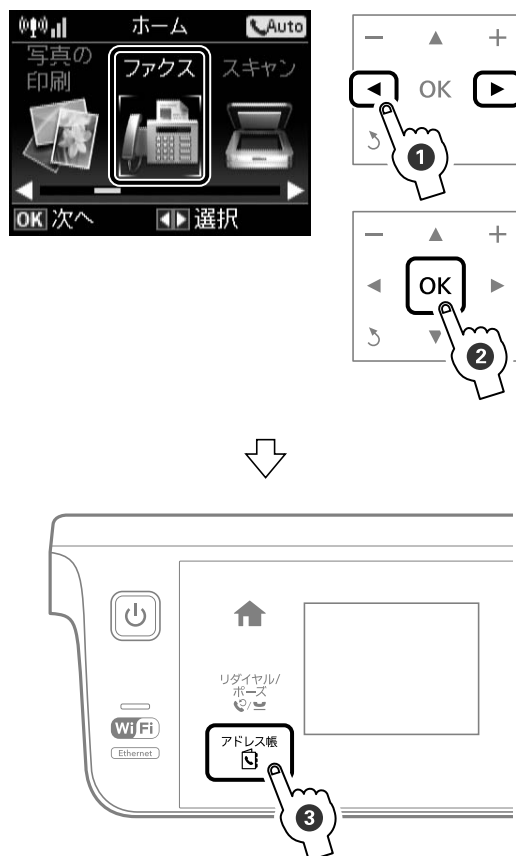
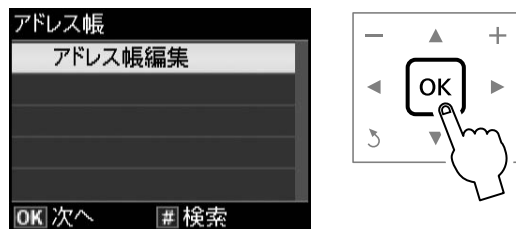
■ 宛先登録

短縮ダイヤルでは宛先番号の入力が簡単にでき、グループダイヤル（短縮ダイヤルをグループにして登録）では一回の操作で複数の宛先が指定できます。

> **参考**
> - 不意の故障などに備え、電話帳のデータはこまめにバックアップすることをお勧めします。
>   ☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）-「便利なファクス機能」
> - 添付の FAX Utility を使うと、パソコンから電話番号の登録ができます。詳細は FAX Utility のヘルプをご覧ください。
> - 送信方法は以下のページをご覧ください。
>   ☞「短縮ダイヤル・グループダイヤル送信」44 ページ

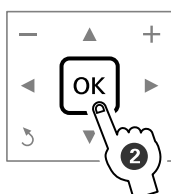
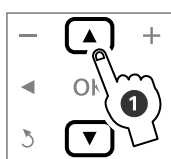
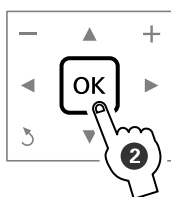
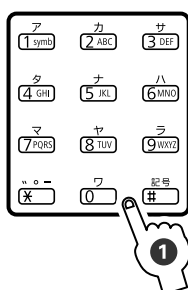
短縮ダイヤル登録

短縮ダイヤルとグループダイヤルを合わせて 100 件（最大 100 電話番号）まで登録できます。

1 [ファクス] を選択し、【アドレス帳】を押します。

2 【OK】を押します。

3 [短縮ダイヤル登録] を選択します。

[編集]：登録済み短縮ダイヤルの編集
[削除]：登録済み短縮ダイヤルの削除

4 登録する番号を選択します。

5 宛先番号を入力します。

【▶】：スペース入力
【◀】：1 文字削除（バックスペース）

6 宛名を入力します。

30 文字まで入力できます。入力できる文字種は、以下のページをご覧ください。
☞「文字の入力」68 ページ

［◀］［▶］：カーソル移動
［←］：1 文字削除（バックスペース）

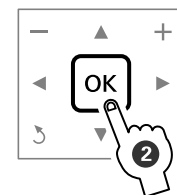
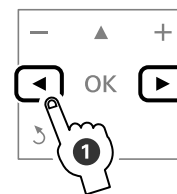
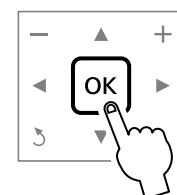
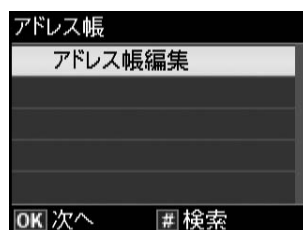
7 入力が終了したら、画面の［確定］を選択して、操作パネルの【OK】を押します。

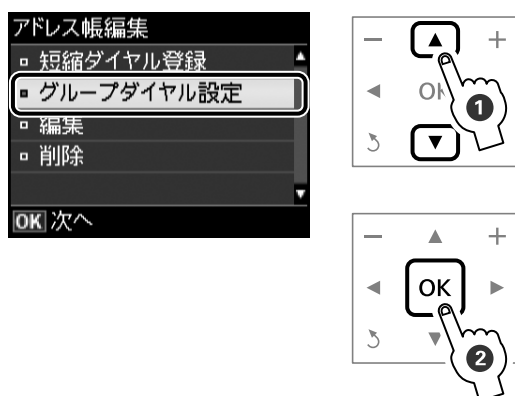
以上で終了です。

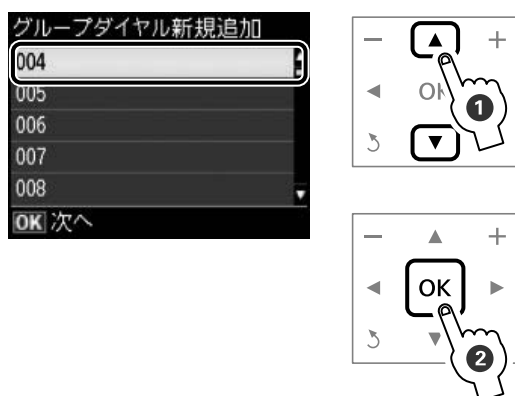
グループダイヤル設定

グループダイヤル * と短縮ダイヤルを合わせて 100 件（最大 100 電話番号）まで登録できます。

* グループダイヤルは、短縮ダイヤルを 99 件まで登録できます。

1 ［ファクス］を選択し、【アドレス帳】を押します。

2 【OK】を押します。

3 ［グループダイヤル設定］を選択します。

［編集］：登録済みグループダイヤルの編集
［削除］：登録済みグループダイヤルの削除

4 登録する番号を選択します。

5 グループダイヤル名を入力します。

30 文字まで入力できます。入力できる文字種は、以下のページをご覧ください。

☞「文字の入力」68 ページ

6 グループにする短縮ダイヤルを選択します。

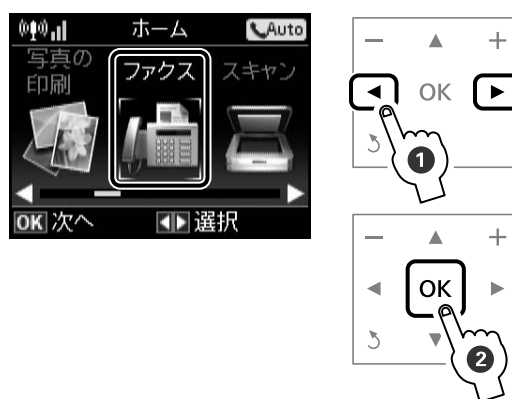
［✓］を外すときは、【◀】か【▶】をもう一度押してください。

7 宛先を全て登録したら、【OK】を押します。

以上で終了です。

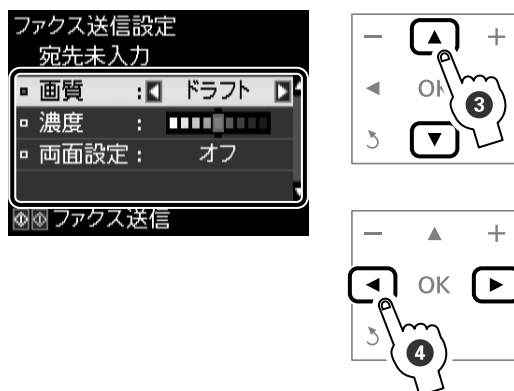
ファクス送信する

■ ファクス送信の基本操作

1 ［ファクス］を選択します。

2 数字入力（テンキー）で宛先（ファクス番号）を入力します。

3 **必要に応じて画質や濃度などの基本設定をします。**

【▼】を押して［ファクス送信設定］を選択します。

変更する項目を選択し、設定値を選択します。

【戻る】: 1 つ前の画面に戻る

設定項目の詳細は、以下をご覧ください。
☞「[ファクス設定]」22 ページ

4 **モノクロまたはカラーの【スタート】を押します。**

この後は画面の指示に従って操作してください。

【ストップ / リセット】: 送信の中止

ファクス送信後、相手先番号が話し中などでつながらないときは、自動で 2 回、1 分おきにリダイヤルします。

以上で終了です。

■ いろいろなファクス送信

短縮ダイヤル・グループダイヤル送信

登録方法は以下のページをご覧ください。
☞「宛先登録」41 ページ

1 **［ファクス］を選択して、【アドレス帳】を押し、［短縮ダイヤル］または［グループダイヤル］を選択します。**

: 短縮ダイヤルのマーク
: グループダイヤルのマーク

【#】: 検索名称入力画面の表示

画質や濃度などの変更方法は「ファクス送信基本操作」の手順 3 をご覧ください。

2 **モノクロまたはカラーの【スタート】を押します。**

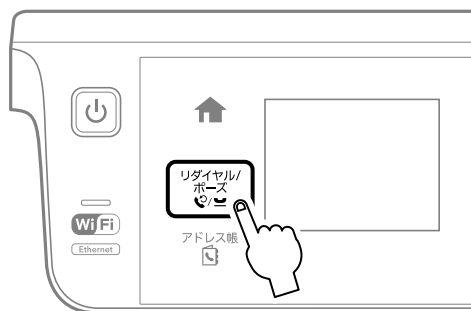
この後は画面の指示に従って操作してください。
グループダイヤルはモノクロ送信のみに対応しています。

【ストップ / リセット】: 送信の中止

以上で終了です。

リダイヤル送信

最後に送信した宛先に再送信（グループダイヤルの場合は、グループの最後にある宛先にのみ再送信）できます。

1 ［ファクス］を選択し、【リダイヤル / ポーズ】を押します。

2 送信設定を変更するときは、【▼】を押して、［ファクス送信設定］で変更します。

3 モノクロまたはカラーの【スタート】を押します。

この後は画面の指示に従って操作してください。
ファクス送信が開始されます。

【ストップ / リセット】：送信の中止

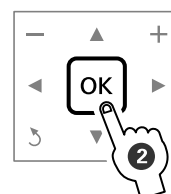
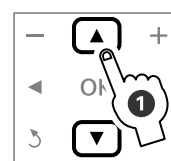
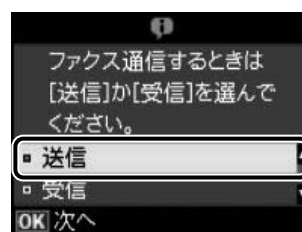
以上で終了です。

手動送信（外付電話機接続時のみ）

ファクスを送信する前に通話したいときや、相手のファクスが自動的に切り替わらないときは、以下の手順で送信します。

1 原稿をセットしてから外付電話器の受話器を上げます。

☞「原稿」35 ページ

2 ［送信］を選択します。

3 外付電話から送信先にダイヤルします。

4 ファクス信号（ピー音）が聞こえたら、モノクロまたはカラーの【スタート】を押して受話器を置きます。

この後は画面の指示に従って操作してください。

【ストップ / リセット】：送信の中止

以上で終了です。

時刻指定送信

指定した時刻にモノクロで送信します。

！重要

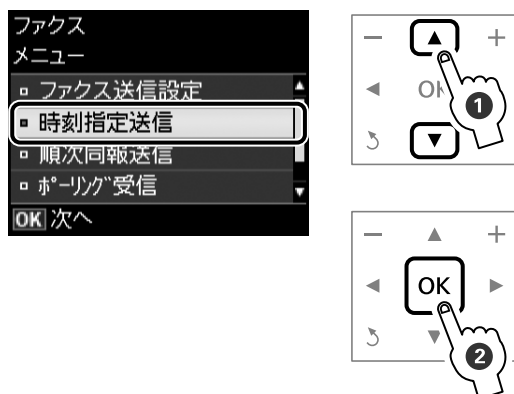
- この設定をすると、指定時刻が過ぎるまで他のファクスを送信できません。
- 指定時刻に電源が入っていなかったときは、電源を入れた時点で送信が開始されます。

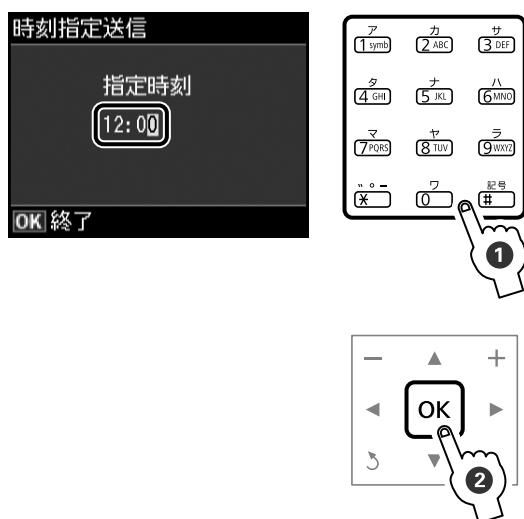
1 ［ファクス］を選択し、宛先を入力します。

☞「ファクス送信の基本操作」43 ページ

2 必要に応じて画質や濃度などの基本設定をします。

☞「ファクス送信の基本操作」43 ページ

3 【▼】を押して［時刻指定送信］を選択します。

4 ［する］を選択します。

5 テンキー（数字キー）で時刻を入力して、【OK】を押します。

❶ 数字を選択（時刻設定が［12H］表示のときは、［AM］・［PM］の選択ができます）します。

変更するときは【◀】【▶】で移動させて数字を設定します。

❷ 設定が終わったら【OK】を押します。

6 モノクロの【スタート】を押します。

この後は画面の指示に従って操作してください。

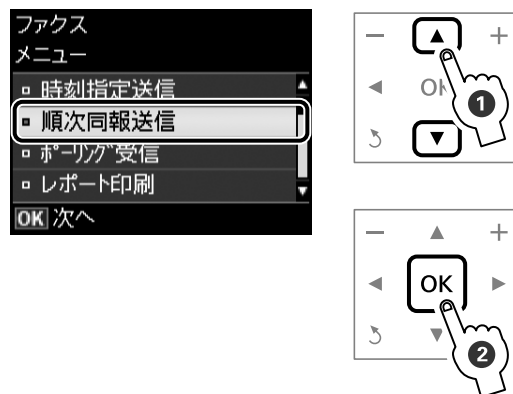
【ストップ / リセット】：送信予約の取り消し

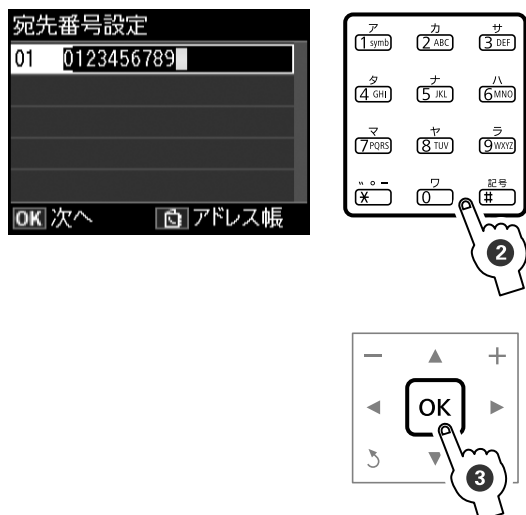
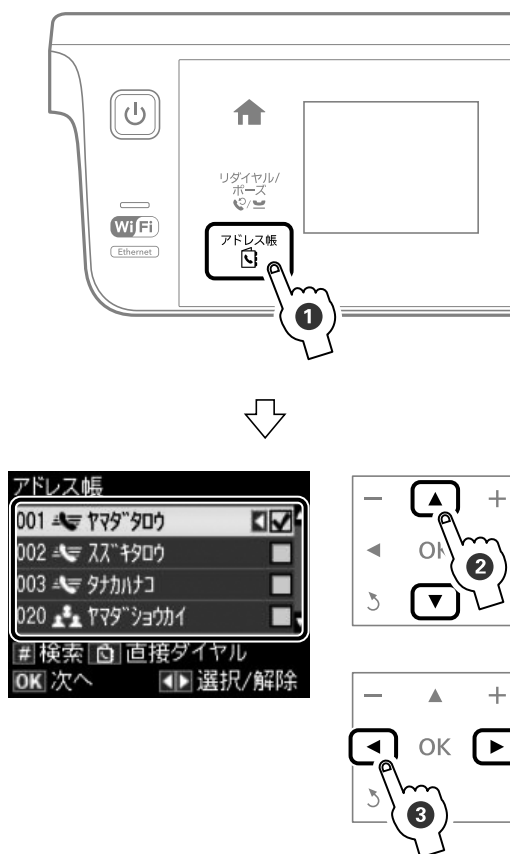
以上で終了です。

順次同報送信

複数の宛先（最大 100 電話番号）に一括してモノクロ送信します。

1 ［ファクス］を選択し、【▼】を押します。

2 ［順次同報送信］を選択します。

3 宛先番号を設定します。

<直接ダイヤル>
複数の宛先を入力するときは、以下の ❶ ～ ❷ を繰り返します。複数の宛先を入力するときは、❷ の後に【▼】を押します。

＜短縮ダイヤル・グループダイヤル＞
［アドレス帳］を押します。

【✓】を外すときは、【◀】か【▶】をもう一度押してください。

> **参考**
>
> 直接ダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルは、組み合わせて設定できます。組み合わせて設定するときは、それぞれの操作を続けて行い、宛先設定が全て終了してから手順 4 に進みます。
> 例えば、短縮ダイヤルまたはグループダイヤルと、直接ダイヤルを組み合わせての設定手順は以下です。
> ❶ 【アドレス帳】を押す
> ❷ 短縮ダイヤルまたはグループダイヤルの宛先を選択
> ❸ 【アドレス帳】（直接ダイヤル）を押して、ファクス番号を入力
> ❹ 【OK】を押して手順 5 に進む

4 **宛先を全て設定したら、【OK】を押します。**

5 **モノクロの【スタート】を押します。**

この後は画面の指示に従って操作してください。

【ストップ / リセット】：送信の中止

以上で終了です。

ファクス受信の仕方

■ いろいろなファクス受信

ファクス受信する方法は以下の 3 通りと、パソコンで受信する方法があります。詳細は『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「ファクス」－「ファクス受信の基本」をご覧ください。
ファクスの受信に備えて、常に普通紙をセットしておくことをお勧めします。

自動受信

ファクス利用が多い方にお勧めです。
ただし、写真印刷・パソコン印刷などをするときは、普通紙以外の用紙（写真用紙など）に印刷されることがあります。この場合は手動受信をお勧めします。

> **！重要**
>
> - 外付電話機を接続していないときは、必ず自動受信モードに設定してください。
> - 外付電話機の留守番電話機能を有効にしているときは、本製品が自動受信するまでの呼び出し回数を留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。少なく設定すると、先に本製品がファクス受信の応答を始めてしまうため、留守番電話への録音や普通の通話ができません。
> - 呼び出し回数の設定方法は、以下のページをご覧ください。
> 「呼び出し回数」39 ページ

自動受信［Auto］が点灯しているときは自動受信になっています。

表示

受信データを印刷するため、A4 サイズの普通紙を常にセットしておいてください。受信が完了すると、自動的に印刷が開始されます。

自動受信［Auto］が点灯していないときは、自動受信モードに切り替えてください。自動受信の切り替えは、［セットアップ］－［ファクス設定］－［ファクス受信設定］－［自動受信］－［する / しない］で設定します。

参考

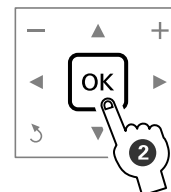
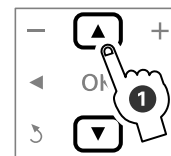
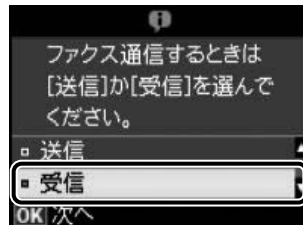
- 留守番電話の応答中にファクス信号を検出すると、自動的にファクス受信に切り替わります。
- 外付電話機を接続せずに、操作パネルの［音の設定］をオフにすると、着信音は鳴りません。
☞「セットアップモード」23 ページ
- 着信中に外付電話機の受話器を上げ、ファクス信号（ポー音）が聞こえたらそのままお待ちください。自動的にファクス受信に切り替わります。ファクス信号が聞こえなくなり「接続中です。」という画面が表示されたら、受話器を置いてください。
- プリンターのエラー時（インクカートリッジの交換が必要なときや用紙が詰まって印刷できないとき）に受信したデータは、メモリーに記録されます。エラーを解除するとデータの印刷ができます。
☞「[ファクス設定]」22 ページ

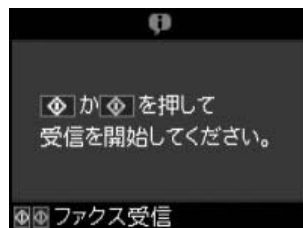
以上で終了です。

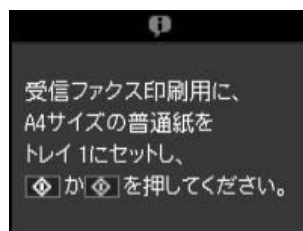
手動受信（外付電話機接続時のみ）

ファクス利用が少ない方は、一度電話に出て相手がファクスかどうかを確認してから受信する手動受信をお勧めします。ホーム画面に自動受信［Auto］が点灯していないことを確認します。
ただし、留守番電話の応答中はファクス信号が検出できません。不在時にファクス受信する可能性があるときは自動受信モードに切り替えてください。
自動受信の切り替えは、［セットアップ］－［ファクス設定］－［ファクス受信設定］－［自動受信］－［する / しない］で設定します。

1 外付電話機の呼び出し音が鳴ったら受話器（親機 / 子機）を上げます。

2 ファクス信号（ポー音）が聞こえたら【受信】を押します。

3 モノクロまたはカラーの【スタート】を押してから、受話器を置きます。

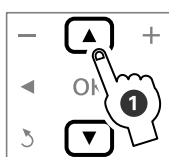
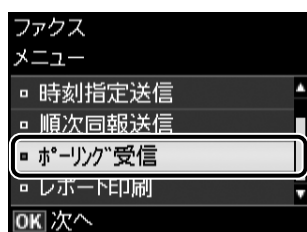
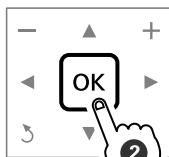
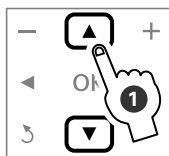
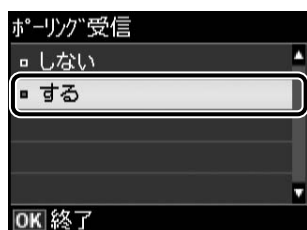
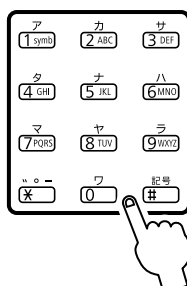
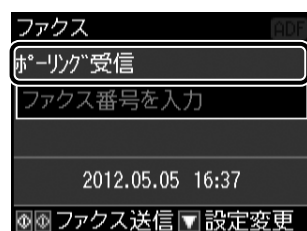
ファクス受信が開始されます。

4 画面を確認してモノクロまたはカラーの【スタート】を押します。

ファクスデータが印刷されます。

以上で終了です。

ポーリング受信

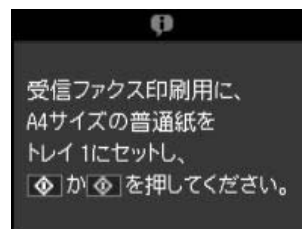
相手側のファクスに蓄積されたデータを受信できます。ファクス情報サービスなどから情報を受けるときに使用します。ただし、音声ガイダンスに従って操作するファクス情報サービスには対応していません。
音声ガイダンスのファクス情報サービスを利用するときは、外付電話機を接続し、手動受信の手順 2 以降に従って操作してください。
☞「手動受信（外付電話機接続時のみ）」48 ページ

1 ［ファクス］を選択し、【▼】を押します。

2 ［ポーリング受信］を選択します。

3 ［する］を選択します。

4 ファクス番号を入力します。

5 モノクロまたはカラーの【スタート】を押します。

ファクス受信が開始されます。

6 画面を確認してモノクロまたはカラーの【スタート】を押します。

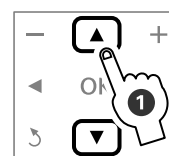
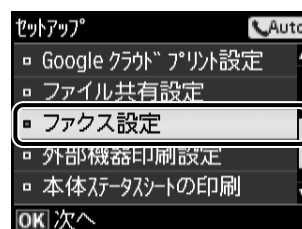
ファクスデータが印刷されます。

以上で終了です。

その他のファクス機能

■ ファクス機能診断

電話回線との接続状態などがチェックできます。
チェック結果は A4 サイズの普通紙に印刷されます。

1 ［セットアップ］を選択し、【▼】を押します。

2 ［ファクス設定］を選択します。

3 ［ファクス機能診断］を選択します。

4 モノクロまたはカラーの【スタート】を押します。

ファクス機能診断レポートが印刷されます。

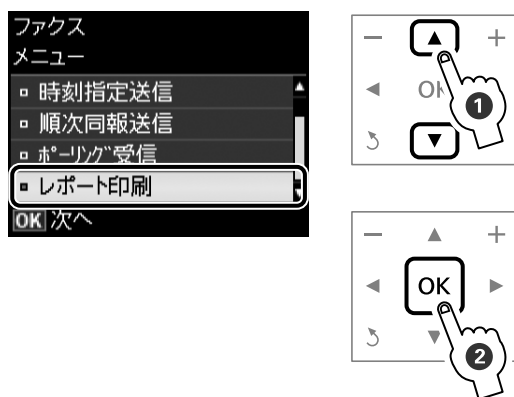
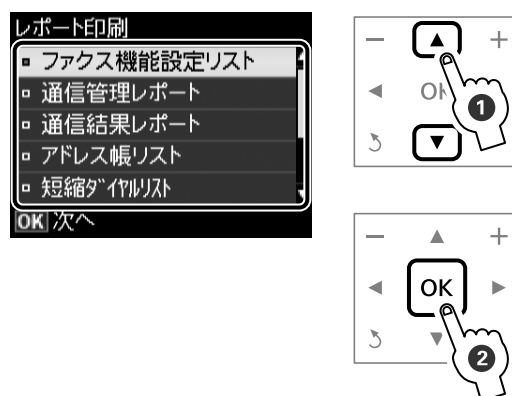
診断結果に問題があったら、ファクス機能診断レポートに記載されている対処方法をお試しください。

以上で終了です。

■ レポート印刷

ファクス送受信のレポートや短縮（グループ）ダイヤルリストが印刷できます。また、一度印刷したファクスデータの再印刷ができます。
蓄積された受信ファクスデータが本製品のメモリーをオーバーすると、古い順から削除されます。
削除されたファクスデータは再印刷できません。

1 ［ファクス］を選択し、【▼】を押します。

2 ［レポート印刷］を選択し、【**OK**】を押します。

3 印刷する項目を選択します。

項目の詳細は以下をご覧ください。
☞「設定項目の説明」14 ページ

スキャンモード

メモリーカードに保存する

スキャンした画像をメモリーカードに保存します。

1 原稿とメモリーカードをセットしてから、［スキャン］-［スキャンしてメモリーカードに保存］を選択します。

メモリーカード内のデータ容量が大きいと、画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。

2 **設定を確認し、必要に応じて設定を変更します。**

【▲】か【▼】で項目を選択して変更してください。設定の組み合わせによって表示されない項目があります。

項目	設定と説明
保存形式	[JPEG]・[PDF]
原稿の両面設定	[片面]・[両面] *1
スキャン範囲	[A4]（A4 サイズでスキャンします）
	[自動キリトリ] *2 （文字や画像のある部分のみスキャンします）
	[最大範囲] *2 （原稿台の範囲を全てスキャンします）
原稿タイプ	[文字]・[写真] *2
解像度	[200dpi]・[300dpi]・[600dpi]
濃度	± 4
原稿の向き	[縦]・[横]
原稿とじ位置	[左]・[上]

*1：　原稿を ADF にセットすると有効

*2：　原稿を ADF にセットすると無効

3 **モノクロまたはカラーの【スタート】でスキャンを開始します。**

以上で終了です。

パソコンに保存する

スキャンした画像をパソコンに保存します。
この機能を使うには、本製品とパソコンを接続し、付属のソフトウェアがインストールされている必要があります。
☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）-「スキャン」-「プリンター操作パネルのスキャン機能」

1 **原稿をセットして、スキャンモードを選択します。**

原稿を ADF または原稿台にセットしてください。

2 **スキャンメニューから、[スキャンしてパソコンへ（xxx）] を選択します。**

3 **スキャンデータを保存するパソコンを選択し、【OK】を押します。**

4 **原稿の両面設定をします。**

5 **【カラー】でスキャンを開始します。**

- ファイル形式や保存フォルダーの指定など、付属のソフトウェア「Epson Event Manager」を使用すると、使用頻度の高いスキャン動作への変更ができます。
☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）-「スキャン」-「プリンター操作パネルのスキャン機能」
- プリンターの操作パネルに表示されるパソコンは、20 台までです。
- スキャンデータを保存するパソコンがネットワーク上にある場合、パソコンの「コンピューター名」の先頭から 15 文字までが操作パネルに表示されます。Epson Event Manager で「ネットワークスキャン名」を設定していると、ネットワークスキャン名が表示されます。
- コンピューター名に半角英数字以外の文字が含まれていると、スキャンデータを保存するパソコンが操作パネルに正しく表示されません。この場合は、Epson Event Manager で「ネットワークスキャン名」を設定してください。設定方法は Epson Event Manager のヘルプをご覧ください。

以上で終了です。

リモート印刷する（Epson Connect）

「スキャンして送信メールでリモート印刷」を使うには、Epson Connect の設定が必要です。
☞『Epson Connect ガイド』（電子マニュアル）

その他の印刷

DPOF 印刷

デジタルカメラで指定した情報（印刷する画像や枚数など）をメモリーカードに記録する「DPOF（Digital Print Order Format）Ver.1.10」の印刷ができます。

1 デジタルカメラで、**DPOF** 印刷の指定をします。

以下の印刷タイプで、印刷する写真や枚数などを設定します。詳細はデジタルカメラのマニュアルをご覧ください。

- スタンダードプリント
- インデックスプリント（コマ番号なしの 20 面などのレイアウトでカラー印刷）
- マルチイメージプリント

2 印刷用紙をセットしてから、**DPOF** 情報の入ったメモリーカードをセットします。

☞「印刷用紙のセット」31 ページ
☞「セット方法」34 ページ

3「**DPOF** のデータがあります。**DPOF** 印刷しますか？」という画面が表示されたら、［はい］を選択します。

4 印刷設定を確認して、印刷を開始します。

以上で終了です。

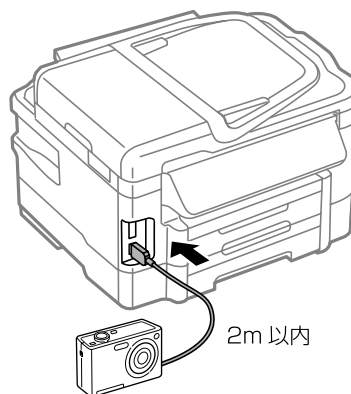
デジタルカメラからUSB接続で印刷

PictBridge 対応のデジタルカメラから、USB 接続で直接印刷できます。

- 通常はデジタルカメラでの設定が優先されますが、以下の設定時は本製品の設定が反映されます。
  - 「プリンター優先」に設定
  - 「セピア」または「モノクロ」に設定
  - 本製品では実現不可能な設定のとき（この場合、実現可能な設定に自動的に調整されます。そのため、この調整結果が本製品側で設定した値と一致するとは限りません。）
- ディスクへの印刷は、本製品側で印刷設定してから、デジタルカメラ側で写真を選択して印刷を開始してください。
- DPOF 設定した写真は USB 接続で印刷できます（DPOF 設定でのディスク印刷ができないデジタルカメラもあります）。

1 印刷用紙をセットしてから、［セットアップ］-［外部機器印刷設定］の順に選択し、各項目を設定します。

☞「印刷用紙のセット」31 ページ

2 デジタルカメラの電源を入れてから、**USB** ケーブルで本製品と接続します。

3 印刷する写真をデジタルカメラ側で選択し、印刷枚数などの設定をしてから印刷を開始します。

以上で終了です。

メンテナンス

インクカートリッジの交換

以下の型番のインクカートリッジを用意してください。
☞「裏表紙」

交換の前に、以下の注意事項をご確認ください。
☞「使用上のご注意」5 ページ

参考
- 大量に印刷するときはインク残量を確認し、事前に予備のインクカートリッジを用意してください。インク残量は、[セットアップ] ‒ [インク残量の表示] で確認できます。
- コピー中にインク交換が必要になったらコピーを中止し、インク交換後に残りのコピーをやり直してください。

メッセージ表示前の交換

1 [セットアップ] を選択します。

2 [プリンターのお手入れ] を選択します。

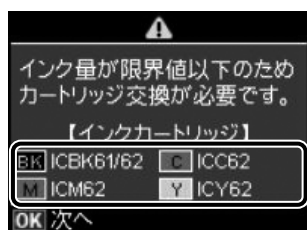
3 [インクカートリッジ交換] を選択します。

4 インクカートリッジ交換の画面が表示されたら、【モノクロ】または【カラー】を押します。

この後は、[メッセージ表示後の交換] の手順 3 から作業してください。

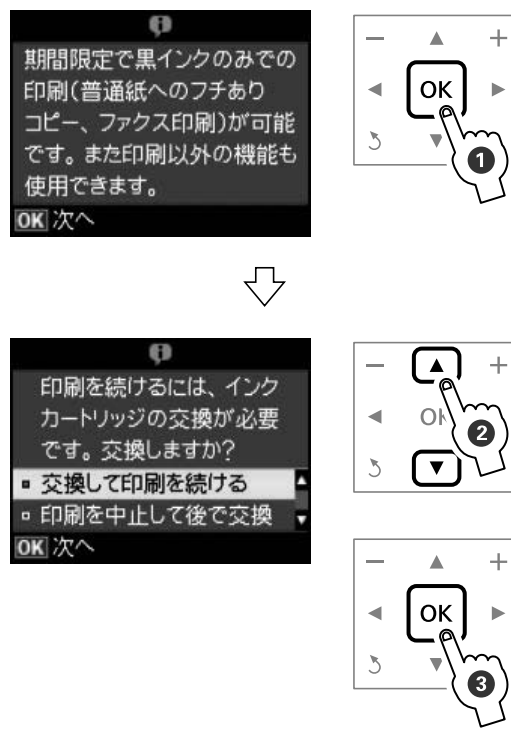
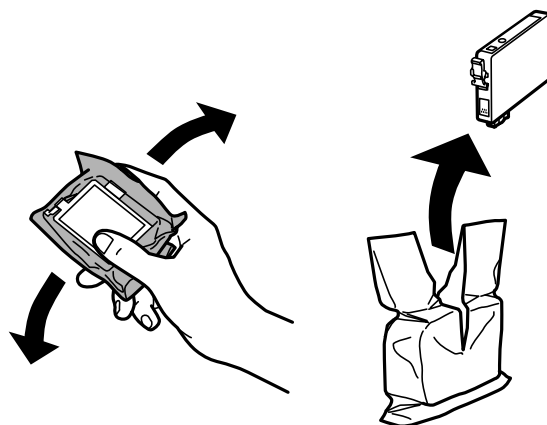
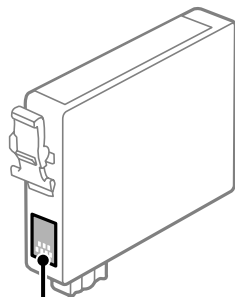
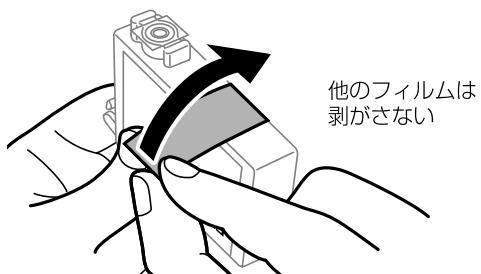
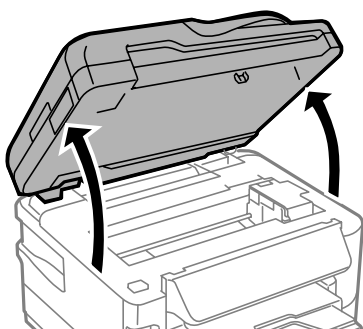
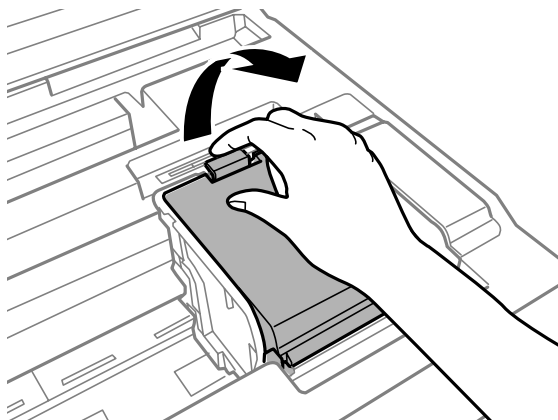
メッセージ表示後の交換

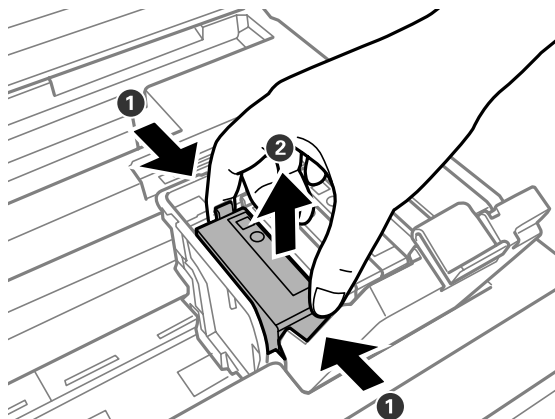
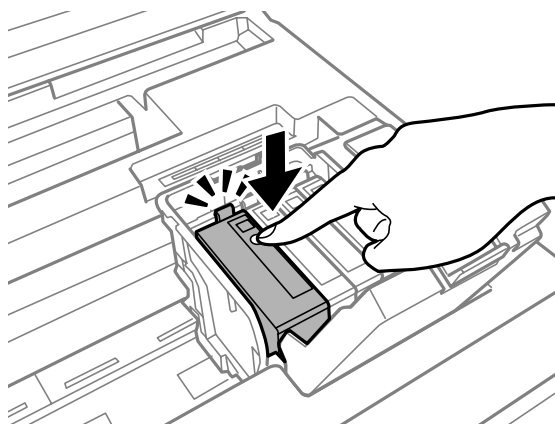
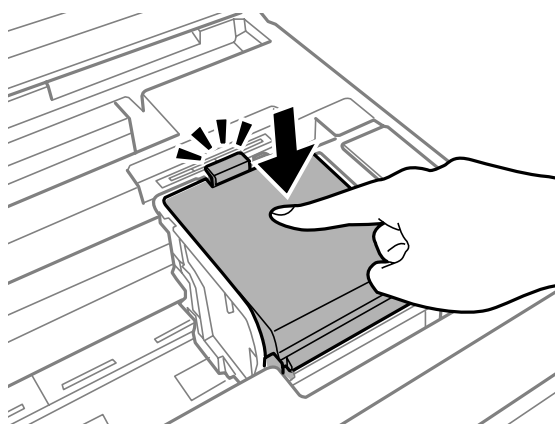
1 交換が必要なインクカートリッジを確認して、【**OK**】を押します。

画面にはエプソンの純正インクカートリッジ型番が表示されます。標準カートリッジと大容量カートリッジは混在できます。

2 [すぐに交換する] を選択して [**OK**] を押します。

参考
カラーインク残量が限界値を下回ったときは、一時的に、ブラックインクのみ使用して印刷できます。（普通紙 フチありコピー、ファクス印刷のみ）。
画面に従い【OK】を押し、以下の画面が表示されたら [印刷を中止して後で交換] または [後で交換する] を選択して、【スタート】（モノクロのみ）で印刷してください。

期間限定で黒インクのみでの
印刷(普通紙へのフチあり
コピー、ファクス印刷)が可能
です。また印刷以外の機能も
使用できます。
OK 次へ

印刷を続けるには、インク
カートリッジの交換が必要
です。交換しますか?
交換して印刷を続ける
印刷を中止して後で交換
OK 次へ

3 新しいインクカートリッジを**4**～**5**回振った後、袋から出します。

> **!重要**
>
> 以下の場所を触らないでください。正常に動作・印刷できなくなるおそれがあります。
>
>
>

4 **黄色いフィルムのみを剥がします。**

5 **原稿カバーが閉じた状態でスキャナーユニットを開けます。**

6 **カートリッジカバーを開けます。**

7 **交換するインクカートリッジを取り外します。**

フックをつまみ、真上に取り出してください。外れないときは、強く引き抜いてください。

8 **新しいインクカートリッジをまっすぐ挿入し、「押」の部分を「カチッ」と音がするまで押し込みます。**

9 **カートリッジカバーを「カチッ」と音がするまで閉めます。**

10 **スキャナーユニットを閉じます。**

スキャナーユニットを閉じると、自動的にインク充填が始まります。

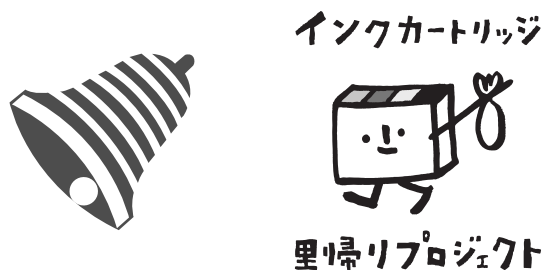
インクの充填が終了するまでの約 3 分間は電源を切らないでください。

以上で終了です。

純正インクカートリッジのお勧め

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

インクカートリッジの回収

エプソンは使用済み純正インクカートリッジの回収活動を通じ、地球環境保全と教育助成活動を推進しています。より身近に活動に参加いただけるように、店頭回収ポストに加え、郵便局や学校での回収活動を推進しています。使用済みのエプソン純正インクカートリッジを、最寄りの「回収箱設置の郵便局」や「ベルマークのカートリッジ回収活動に参加している学校」にお持ちください。
回収サービスの詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。
＜ http://www.epson.jp/recycle/ ＞

学校へ持っていこう！

郵便局へ持っていこう！

インクカートリッジの廃棄

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

ノズルチェックとヘッドクリーニング

プリントヘッドのノズルが目詰まりすると、印刷がかすれたり、スジが入ったりします。印刷品質に問題があるときは、ノズルチェック（目詰まり確認）をしてください。
写真を印刷する前のノズルチェックもお勧めします。

1 **A4 サイズの普通紙をセットしてから、［セットアップ］－［プリンターのお手入れ］－［プリントヘッドのノズルチェック］を選択します（PX-675F は用紙トレイ 1 のみ）。**

ノズルチェックパターンが印刷されます。

ここで［プリントヘッドのクリーニング］を選択すると、ノズルチェックせずにヘッドクリーニングができます。

2 **ノズルチェックパターンを確認します。**

明るい場所で確認してください。電球色の蛍光灯などの下では、ノズルチェックパターンが正しく確認できないことがあります。

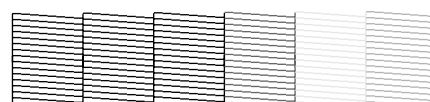
ノズルチェックパターン

■ 印刷されないラインがある

×

ノズルは目詰まりしています。
手順 3 に進んでください。

■ すべてのラインが印刷されている

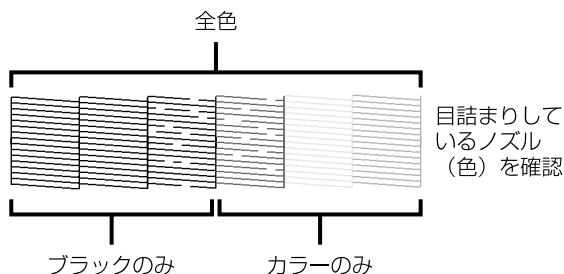
○

ノズルは目詰まりしていません。
［ノズルチェック終了］を
選択してください。

3 **［プリントヘッドのクリーニング］を選択します。**

！重要

ヘッドクリーニング中は、電源を切らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

4 **クリーニングが必要なノズル（色）を選択してモノクロまたはカラーの【スタート】を押します。**

ブラックもカラーも目詰まりしているときは［全色］を選択します。カラーのいずれかが目詰まりしているときは［カラーのみ］を、ブラックのいずれかが目詰まりしているときは、［ブラックのみ］を選択します。

5 **ヘッドクリーニングが終わったら、［ノズルチェック］を選択し、再度ノズルチェックパターンを印刷します（手順 2 に戻ります）。**

ノズルチェックパターンの全てのラインが印刷されるまで、ノズルチェックとヘッドクリーニングを繰り返してください。

以上で終了です。

！重要

- ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に 4 回程度繰り返しても目詰まりが解消されないときは、印刷しない状態で 6 時間以上放置* した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。
時間をおくことによって、目詰まりが解消し、正常に印刷できるようになることがあります。
それでも改善されないときは、エプソンの修理窓口に修理をご依頼ください。
*: ファクスの自動受信などで印刷動作が入った場合は放置時間を延長してください。電源を切って放置することをお勧めします。
☞「お問い合わせ先」76 ページ
- ヘッドクリーニングは必要以上に行わないでください。インクを吐出してクリーニングするため、インクが消費されます。
- プリントヘッドが乾燥して目詰まりすることを防ぐため、電源の入 / 切は必ず電源ボタンで行ってください。
- プリントヘッドを常に最適な状態に保つために、定期的に印刷することをお勧めします。

メンテナンスボックスの交換

メンテナンスボックスは、クリーニング時や印刷時に排出される廃インクを溜めるものです。いっぱいになると、ボックスを交換するまで印刷できません（インクあふれ防止のため）。メンテナンスボックス交換のメッセージが表示されたら、交換してください。

⚠注 意

インクが皮膚についてしまったり、目に入ったりしたときは、すぐに水で洗い流してください。

！重要

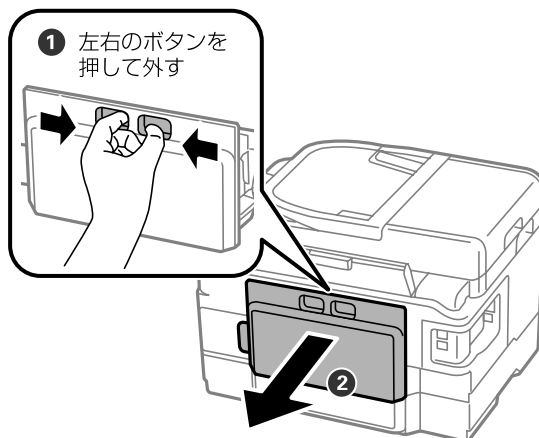
- 長期間放置したメンテナンスボックスは使用しないでください。内部のインクが固化し、インクの吸収ができません。
- 印刷中は交換しないでください（廃インクが漏れることがあります）。
- メンテナンスボックスの緑色の基板に触らないでください。正常な動作や印刷ができなくなるおそれがあります。

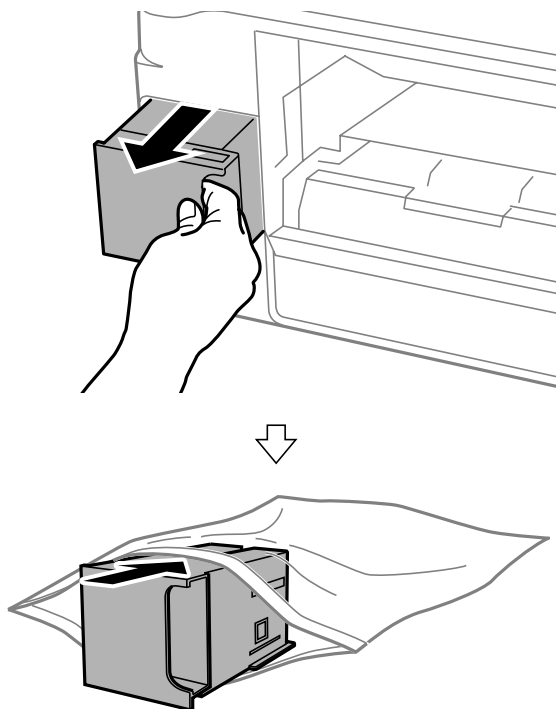
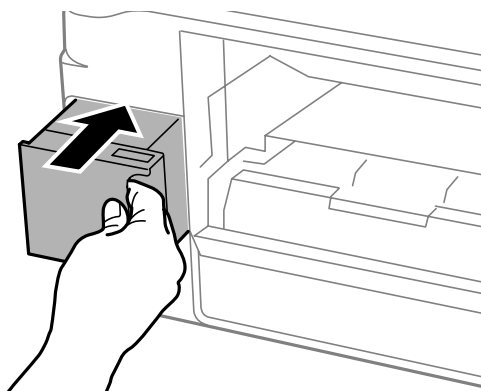
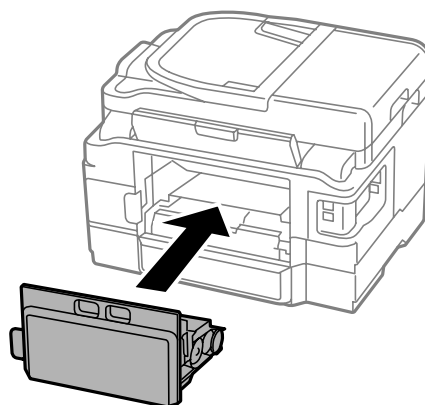
参考

- メンテナンスボックスの空き容量がなくなると印刷できなくなりますが、ファクス送信や外部機器へのデータ保存などはできます。
- メンテナンスボックスの空き容量は、［セットアップ］－［インク残量の表示］で確認できます。

1 **電源を切ります。**

2 **新しいメンテナンスボックス（型番：PXMB3）を用意します。**

3 **背面ユニットを取り外します。**

4 **使用済みメンテナンスボックスを引き出し、そのまま透明の袋に入れて密封します。**

> **!重要**
>
> メンテナンスボックスは密封するまで傾けないでください。インクが漏れることがあります。

5 **保護材を取り外した新しいメンテナンスボックスをセットします。**

6 **背面ユニットを取り付けます。**

7 **電源を入れます。**

以上で終了です。

使用済みメンテナンスボックスは、「引取回収サービス」をご利用ください。回収サービスの詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。
< http://www.epson.jp/recycle/ >

困ったときは

詰まった用紙の取り除き方や、きれいに印刷できない、給排紙できないなどの対処法を説明します。

詰まった用紙の取り除き方

⚠注意

- 製品内部に手を入れて用紙を取り出すときは、操作パネルのボタンには触らないでください。また、突起などでけがをしないように注意してください。
- スキャナーユニットの開閉の際は、スキャナーユニットと本体との接合部（継ぎ目）に手を近付けないでください。指や手を挟んで、けがをするおそれがあります。

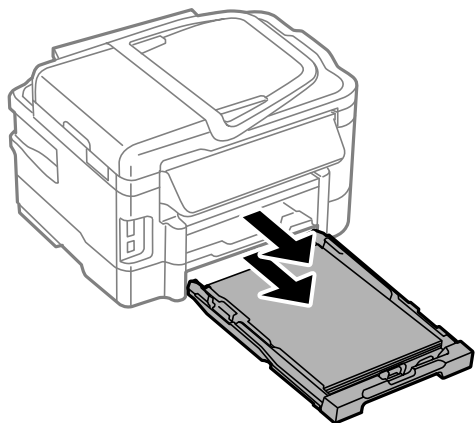
!重要

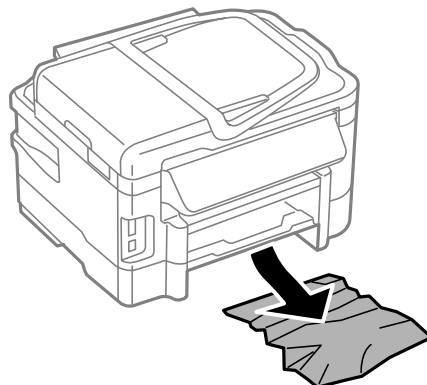
- 用紙はゆっくりと引き抜いてください。勢いよく引っ張ると、本製品が故障することがあります。
- 内部の半透明の部品に触れると動作不良につながるおそれがあります。
- キャリッジ（インクカートリッジセット部）横の白いケーブルには絶対に触らないでください。

画面の指示に従い、用紙が詰まっている（紙片がちぎれて残っている）箇所を順番に確認して取り除いてください。電源を切る指示が表示されたら、電源を切ってください。

用紙トレイ部

■ 用紙トレイが抜けるとき

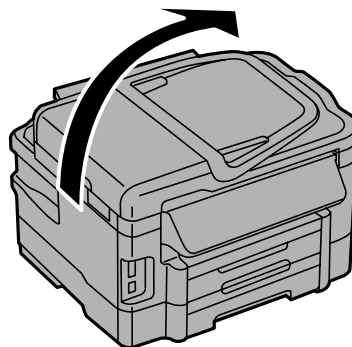
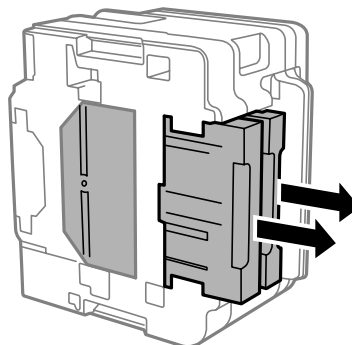
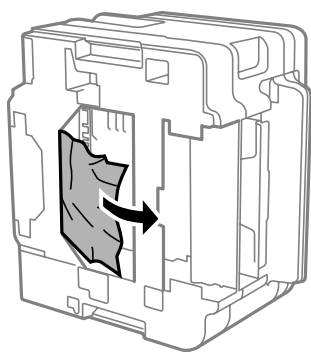
1 用紙トレイを引き抜きます。

2 用紙を取り除きます。

奥に用紙があるかどうかを確認し、あれば取り除いてください。

3 用紙トレイをセットします。

■ 用紙トレイが抜けないとき

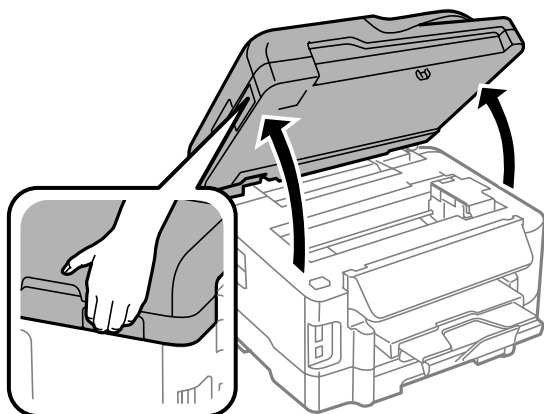
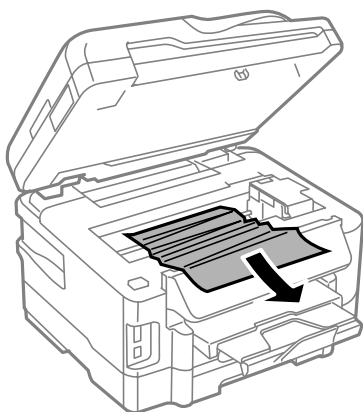
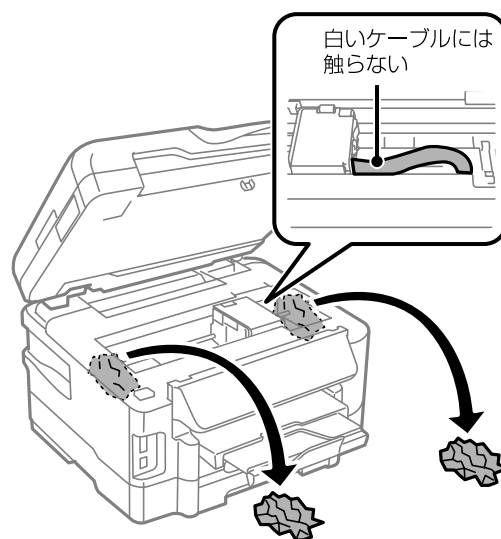
⚠注意

- 作業をする前に、電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、電源コードをプリンターから取り外してください。
- 本体を横にする際には、手などを挟まないよう注意してください。作業中は、本体が倒れないよう、手で支え続けてください。

1 図の向きでプリンターを横にします。

2 用紙トレイを引き抜きます。

3 用紙を引き抜きます。

4 プリンターを元の向きに戻し、用紙トレイをセットします。

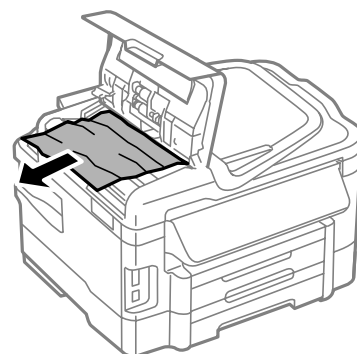
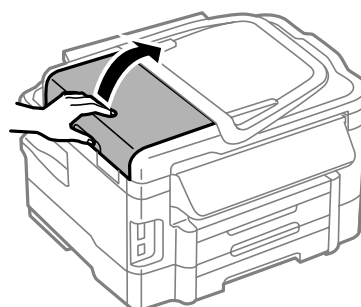
以上で終了です。

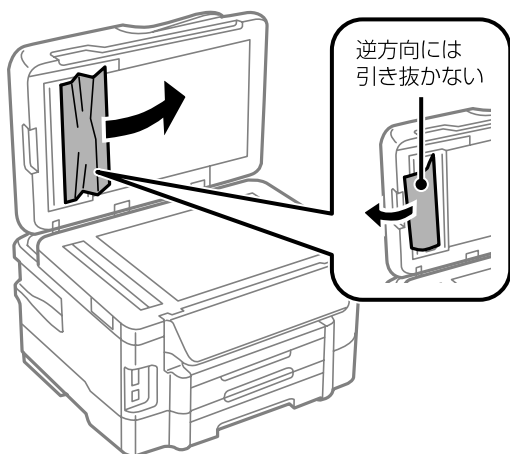
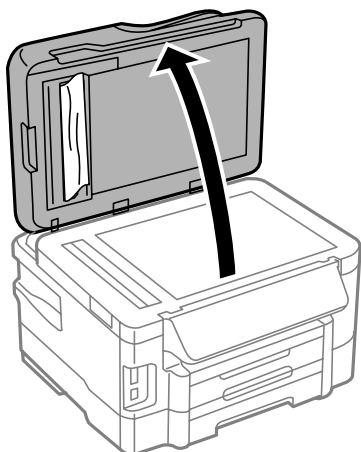
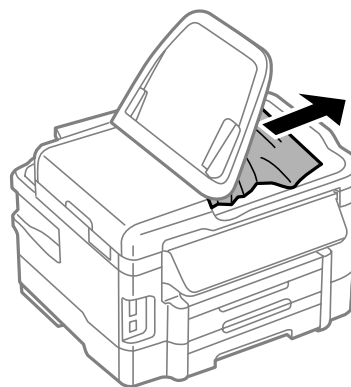
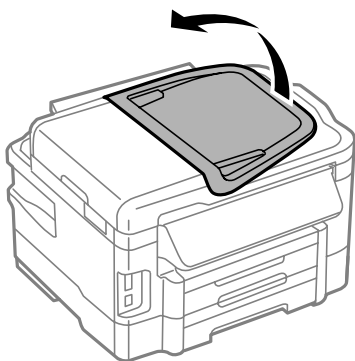
プリンター内部

1 原稿カバーを閉じた状態で、スキャナーユニットを開けます。

2 用紙を取り除きます。

3 内部に詰まった用紙があれば取り除きます。

4 スキャナーユニットを閉じます。

以上で終了です。

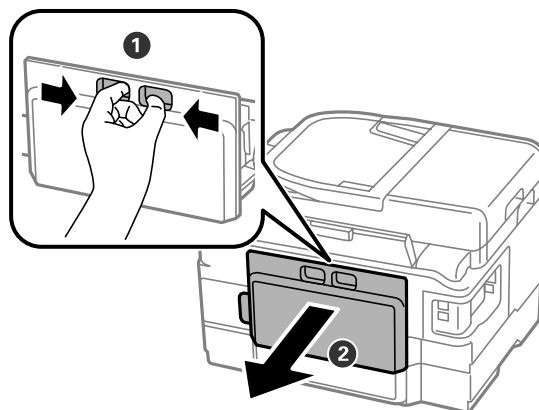
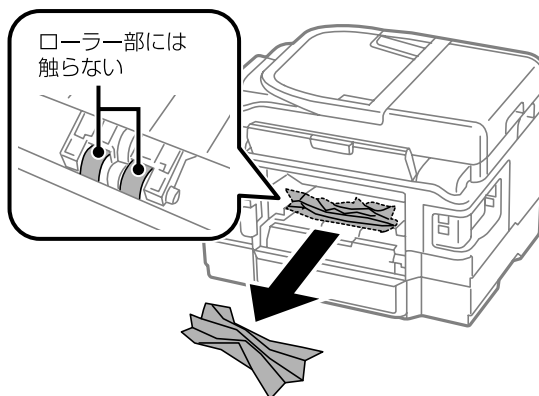
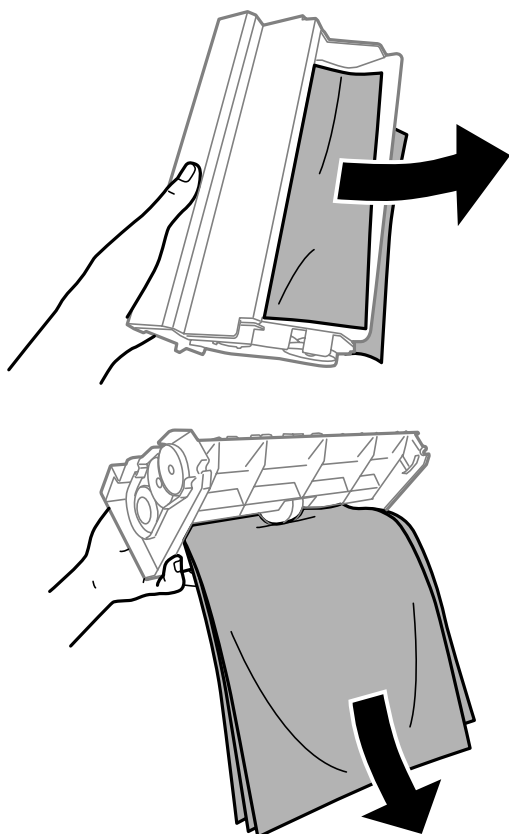
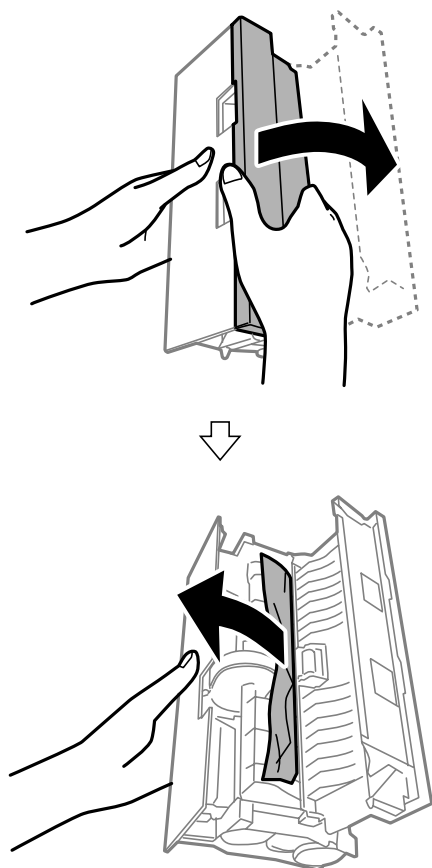
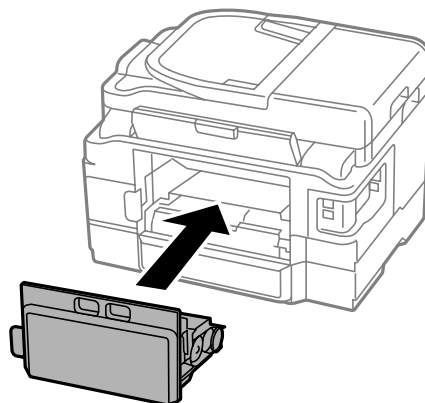
ADF 部

1 **ADF** カバーを開けて、用紙を取り除きます。

手順 1 で取り除けないときは、手順 2 に進んでください。

2 **ADF カバーを閉じ原稿カバーを開けて、用紙を取り除きます。**

3 **ADF 給紙トレイを上げ、用紙を取り除きます。**

4 **ADF 給紙トレイを閉じます。**

以上で終了です。

プリンター背面部

1 **背面ユニットを取り外します。**

2 **本体側の用紙を取り除きます。**

3 背面ユニット側の用紙を取り除きます。

取り除けないときは、背面ユニットを開けて取り除いてください。

4 背面ユニットを閉じてから本体に取り付けます。

以上で終了です。

メッセージが表示された

メッセージ	対処方法
プリンターエラーが発生しました。 電源を入れ直してください。	電源を入れ直しても同じメッセージが表示されるときは、スキャナーユニットを開けて内部に異物（保護テープや保護材、用紙など）が入っていないか確認してください。
バックアップ中にエラーが発生しました。 バックアップを中止します。 エラーコード XXXXXXXX	表示されたエラーコードを控えてから、エプソンインフォメーションセンターにご連絡ください。 ☞「お問い合わせ先」76 ページ
保存中にエラーが発生しました。 保存を中止します。	外部記憶装置の故障（または非対応）、保存できないフォーマット形式のメディアの可能性があります。使用できる外部記憶装置の詳細は以下をご覧ください。 ☞「外部記憶装置」71 ページ
インク量が限界値以下のためカートリッジ交換が必要です。	本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されています。新しいインクカートリッジと交換してください。 ☞「インクカートリッジの交換」53 ページ
Recovery Mode	ファームウェアのアップデートに失敗したため、リカバリーモードで起動しました。以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。 ①パソコンとプリンターを USB 接続します（リカバリーモード中のアップデートは、ネットワーク接続ではできません）。 ②エプソンのホームページから最新のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。 詳しくはダウンロードページの「アップデート方法」をご覧ください。

トラブルへの対処

印刷品質

現象	対処方法
かすれる スジや線が入る 色合いがおかしい 色が薄い 印刷されない色がある ムラがある モザイクがかかったように印刷される 印刷されない（白紙のまま）	• ノズルが目詰まりしている可能性があります。プリントヘッドの状態を確認してください。 「ノズルチェックとヘッドクリーニング」55 ページ • 消費期限が切れたインクカートリッジを使わないこと、推奨品（エプソン純正品）を使うことをお勧めします。 「インクカートリッジの交換」53 ページ • プリントヘッドの位置がずれている可能性があります。ギャップ調整を行ってください。（PX-675F の用紙セットは、用紙トレイ 1 のみ） 「セットアップモード」23 ページ 改善されないときはプリンタードライバーからの調整を試してみてください。 『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）-「メンテナンス」-「印刷のずれ（ギャップ）調整」 • 写真などへの印刷は、普通紙ではなくエプソン製専用紙に印刷することをお勧めします。エプソン製専用紙のおもて面に印刷してください。 「印刷できる用紙と設定」28 ページ • 印刷後の用紙は、十分に乾燥させてからアルバムやクリアファイル、ガラス付き額などに入れて保管・展示してください。 • 印刷後の用紙を重ねないでください。 • 乾燥させるときは、直射日光に当てたり、ドライヤーを使ったりしないでください。 • セットした用紙の種類と、印刷設定の［用紙種類］を合わせてください。 「印刷できる用紙と設定」28 ページ • 印刷品質の高いモード（［きれい］など）での印刷をお試しください。 普通紙に［標準品質］で印刷すると、スジが出ることがあります。 • 自動画質調整やコントラストなどを設定し、好みの色合いに調整してください。 「写真の印刷モード」18 ページ • 解像度の高い（画素数の多い）データで印刷してください。
2.5cm 間隔でスジが入る ぼやける 文字や罫線がガタガタになる	プリントヘッドの位置がずれている可能性があります。ギャップ調整を行ってください。 「セットアップモード」23 ページ 改善されないときは、プリンタードライバーからの調整を試してみてください。（PX-675F の用紙セットは、用紙トレイ 1 のみ） 『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）-「メンテナンス」-「印刷のずれ（ギャップ）調整」
コピーするとムラ・シミ・斑点が出る 裏写りする	• 原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。 • 通紙（給排紙）をして、製品内部をクリーニングしてください。 「本体のクリーニング」67 ページ • ADF のローラーに付いているゴミや汚れを取り除いてください。 「ADF のクリーニング」67 ページ • 原稿カバーや原稿を強く押さえ付けないでください。 • 原稿の紙が薄いときは、原稿台からコピーしてください。また、裏側に黒い紙や下敷きなどを重ねてコピーしてください。
印刷位置がずれる・はみ出す	• 用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。 「印刷用紙のセット」31 ページ • 原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。コピー時は、ゴミや汚れのある範囲までをコピー対象にするため、印刷位置が大きくずれることがあります。 • 原稿を正しくセットしてください。 「原稿」35 ページ • セットした用紙のサイズと、印刷設定の［用紙サイズ］を合わせてください。 「印刷できる用紙と設定」28 ページ • フチなし印刷で写真の周囲が欠けるときは、フチなしはみ出し量を変更してください。 「［用紙とコピーの設定］」14 ページ 「［写真を見ながら選んで印刷］」18 ページ 「［全ての写真を印刷］ － ［用紙と印刷の設定］」20 ページ

現象	対処方法
用紙が汚れる	• コピー濃度を下げてください。 ☞「コピーモード」37 ページ • 原稿台や原稿カバーに付いているゴミや汚れを取り除いてください。 • 通紙（給排紙）をして、製品内部をクリーニングしてください。 ☞「本体のクリーニング」67 ページ • 両面印刷時は、印刷した面を十分乾かしてから裏面に印刷してください。ハガキは、宛名面を先に印刷することをお勧めします。 • 本製品で使用できる用紙をお使いください。 ☞「印刷できる用紙と設定」28 ページ • 用紙を正しい方向でセットしてください。 ☞「印刷用紙のセット」31 ページ • 印刷後の用紙は、十分に乾燥させてからアルバムやクリアファイル、ガラス付きの額などに入れて、保存・展示してください。 • 印刷した用紙を乾燥させるときは、直射日光に当てたり、印刷面を重ねたり、ドライヤーを使ったりしないでください。 • フチなし設定印刷は、以下の用紙をお勧めします。 写真用紙、フォト光沢紙、フォトマット紙、各種郵便ハガキ、各種エプソン製専用ハガキ • 両面コピー時は［両面・乾燥時間］を設定してください。 ☞「セットアップモード」23 ページ
フチなし印刷ができない	• 印刷設定で［フチなし設定］を選択してください。 ☞「［用紙とコピーの設定］」14 ページ • フチなし印刷に対応した用紙をお使いください。 写真用紙、フォト光沢紙、フォトマット紙、各種郵便ハガキ、各種エプソン製専用ハガキ
ハガキに縦長の写真を印刷すると、宛名面と上下が逆になってしまう	セットの向きを上下逆にしてください。 縦長写真のデータは、撮影時の条件（カメラの向きや仕様）によって、写真の上下（天地）が異なります。
コピーすると画像が小さくなる	原稿台のガラス面が汚れている可能性があります。柔らかい布で拭いてください。

電源・操作パネル

現象	対処方法
電源が入らない 電源ランプが消灯したまま	• 【電源】を少し長めに押してください。 • 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。また、壁などに固定されているコンセントに直接接続してください。
電源が切れない	【電源】を少し長めに押してください。それでも切れないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。プリントヘッドの乾燥を防ぐため、その後に電源を入れ直し、【電源】で切ってください。
液晶ディスプレイが暗くなった	スリープモードになっています。操作パネルのいずれかのボタンを押すと元の明るさに戻ります。
メッセージの意味がわからない	以下をご覧ください。 ☞「メッセージが表示された」62 ページ

給紙・排紙

現象	対処方法
斜めに給紙される 重なって給紙される 用紙が給紙されない 用紙が排出されてしまう ADF から給紙されない	• 用紙は正しくセットしてください。用紙ガイドは用紙サイズに合わせてください。 ☞「印刷用紙のセット」31 ページ • 印刷できる用紙をお使いください。 ☞「印刷できる用紙と設定」28 ページ • 水平な場所に設置されているか、使用環境に問題がないかを確認してください。 ☞「総合仕様」69 ページ • 内部のローラーが汚れている可能性があります。きれいにしてください。 ☞「本体のクリーニング」67 ページ • ADF の内部が汚れている可能性があります。きれいにしてください。 ☞「ADF のクリーニング」67 ページ • 印刷処理が中断された可能性があります。 印刷中にスキャナーユニットを開けたらすぐに閉じてください。印刷処理が一定の時間中断すると、印刷中の用紙を排出するように設計されています。
用紙が詰まった	取り除いてください。 ☞「詰まった用紙の取り除き方」58 ページ

ファクス

現象	対処方法
外付電話機で通話できない	本製品の EXT. ポートに外付電話を接続し、受話器を上げて「ツー音」が聞こえるかを確認してください。「ツー音」が聞こえれば電話機に問題はありません。「ツー音」が聞こえないときは、モジュラーケーブルの接続（接続ポートの向き）が正しいか確認してください。
受信も送信もできない	• ファクス診断してください。 ☞「セットアップモード」23 ページ •「通信エラー」と表示されたら、回線が不安定になっている可能性があります。頻繁に発生するときはエプソンの修理窓口にお問い合わせください。 ☞「お問い合わせ先」76 ページ • ファクス通信モードを確実（G3）にしてください。 ☞「ファクスモード」39 ページ
送信できない 指定時刻に送信できない	• ファクス診断してください。 ☞「セットアップモード」23 ページ • 回線種別の設定を実態に合わせてください。 ☞「回線種別」40 ページ •「ダイヤルトーンがありません」と表示されたら、ファクス回線設定の［ダイヤルトーン検出］を［しない］に設定してください。 • ADSL 接続時は、スプリッターなどの装置を外し、電話コンセントに直接接続して送信してみてください。正常に送信できれば本製品には問題がありません。インターネットサービスプロバイダーや IP 電話プロバイダーにお問い合わせください。 • 送信先の設定によっては自局番号が登録されていないと受け付けてくれないことがあります。自局番号を登録してください。 ☞「自局設定」40 ページ • 送信先の設定によっては電話番号を通知しないと受け付けてくれないことがあります。非通知設定にしてあるときは、宛先番号の先頭に 186 を付けて発信してみてください。 • 時刻指定送信は、日付と時刻が設定されていないとできません（項目も表示されない）。日付と時刻を設定してください。 •「応答がありません」と表示されたら、以下を確認してください。 送信先ファクス番号は正しいか 送信先ファクスが受信できる状態か どちらも問題がなければ、しばらくたってから再送信してみてください。

現象	対処方法
特定送信先にファクス送信できない（毎回エラーが表示される）	ダイヤル終了後 50 秒間は相手先の応答を待ちますが、応答が 50 秒以上かかる場合はエラーになります。 以下のページの「手動送信（外付電話機接続時のみ）」を行い、ファクス信号（ピー音）が聞こえるまでの時間をご確認ください。 ☞「ファクス送信する」43 ページ 50 秒以上かかる場合は、電話番号 +［ポーズ］を入力して送信してください。 ポーズ 1 回につき、約 3 秒間ファクス送信が遅延されますので、必要に応じて［ポーズ］を増やしてください。
受信できない	• ファクスの自動受信を［オン］にしてください。 • 着信したファクスが転送されると受信はできません。ボイスワープなどの電話転送サービスを利用している場合は、サービスを提供している電話会社にお問い合わせください。 • 呼び出し回数が多く設定されていると、送信側の設定によっては受信できないことがあります。 ☞「呼び出し回数」39 ページ • 何らかのエラーが発生していたり、メモリーがいっぱいになっていたりすると受信はできません。エラーを解除してください。 ☞「セットアップモード」23 ページ • PBX 環境（企業などの内線電話）で、ファクス受信できない場合は、呼び出し回数を 1 回にしてみてください。
きれいに送信できない	• 原稿台と ADF の汚れを取り除いてください。 • 文字と写真が混在した原稿は［きれい］の設定で送信してください。 • ファクス設定の濃度を調整してください。 ☞「ファクスモード」22 ページ
きれいに受信できない	• ファクス回線設定の［エラー訂正（ECM）］を［する］にしてください。 ☞「セットアップモード」23 ページ • 送信元に「原稿に汚れがないか」「画質の高いモードで送信できないか」を尋ねてみてください。 • 受信ファクスを印刷し直してみてください（［レポート印刷］で再印刷できます）。
音声通話ができない	自動受信するまでの呼び出し回数は、留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。

その他のトラブル

現象	対処方法
ヘッドクリーニングできない	ヘッドクリーニングはインクを消費するため、十分な残量がないとできません。新しいインクカートリッジに交換してから行ってください。 ☞「インクカートリッジの交換」53 ページ
約10分以上連続して印刷をしている途中で、印刷速度が遅くなった	高温による製品内部の損傷を防ぐための機能が働いたため、速度を下げて印刷しています（印刷は継続できます）。 印刷を中断し、電源を入れたまま 45 分以上放置した後は通常の速度で印刷します（電源を切って放置しても印刷速度は回復しません）。
製品に触れたときに電気を感じる（漏洩電流）	• アース（接地）を取ることをお勧めします。 • 多数の周辺機器を接続している環境下では、本製品に触れた際に電気を感じることがあります。
パソコン接続していてトラブルが発生した	パソコン接続時のトラブル対処方法は以下をご覧ください。 ☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）-「トラブル解決」 ☞『ネットワークガイド』（電子マニュアル）-「トラブル解決」ー「その他のトラブル」-「ネットワーク印刷時のトラブル」
日付・時刻がずれている	日付・時刻を正しく設定し直してください。 ☞『準備ガイド』-「日時の設定」

現象	対処方法
写真の選択画面で「？」と表示される	故障ではありません。対応していない画像は「？」で表示されます。 ☞「対応画像ファイル」70 ページ

本体のクリーニング

■ 本体のクリーニング

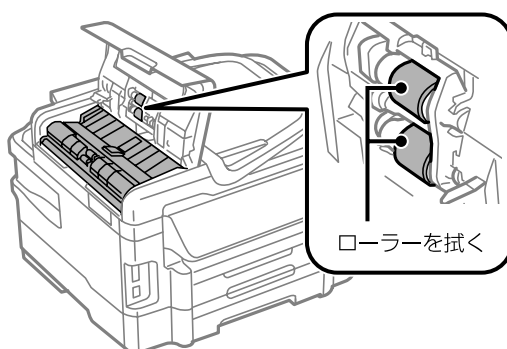
印刷物に汚れやこすれがあるときや、用紙が正しく給紙されないときは、製品内部（ローラー）をクリーニングしてください。用紙に同梱されているクリーニングシートは使用できません。

1. **用紙トレイに A4 サイズの普通紙（コピー用紙など）をセットします。**
2. **原稿をセットしないでコピーを実行します。**
3. **用紙にインクの汚れが付かなくなるまで繰り返します。**

> **！重 要**
> 製品内部は、布やティッシュペーパーなどで拭かないでください。繊維くずなどでプリントヘッドが目詰まりすることがあります。

■ADF のクリーニング

コピーすると汚れが出たり、原稿の給紙不良が発生したりする場合は、ADF をクリーニングしてください。

1. **ADF カバーを開けます。**
2. **ローラー部など内部に付着している紙粉、塵やホコリなどを柔らかい布で、から拭きします。**

付録

文字の入力

アドレス帳、ネットワーク設定などでの文字や記号の入力は、入力専用画面で行います。
設定する項目によって表示される画面は異なります。
カーソル移動および操作は、【▲】【▼】【◀】【▶】【OK】で行います。

[空白]	右に向かってスペースを入力します。
[◀] [▶]	1 文字ずつカーソル移動します。
[←]	左に向かって 1 文字ずつ削除します（バックスペース）。
[確定]	入力を終了します。
[AB12] [ab12] [カナ] [記号]	宛先などの入力時は、いずれかのキーを押すと入力文字を切り替えます。

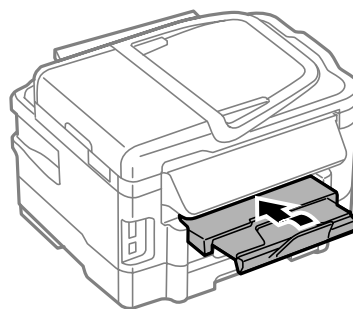
輸送方法

輸送の前に以下の作業を行ってください。

1. **電源を切ります。**

   プリントヘッドがホームポジション（待機位置）に移動し、固定されます。

   > **!重要**
   > - インクカートリッジは取り外さないでください。取り外すと、プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。
   > - プリントヘッドの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、ホームポジションに戻らず、固定されません。電源を入れ直し、【電源】を押して電源を切ってください。

2. **手差し給紙や排紙トレイなどを元の位置に戻します。**

3. **ケーブル類を外します。**

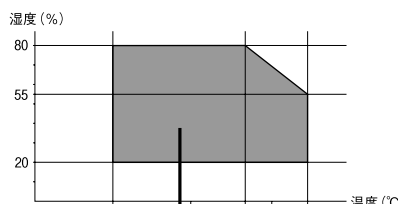
4. **セットされている用紙を取り出します。**

5. **原稿カバーの下やADFに原稿がないことを確認します。**

6. **保護材を取り付けた後、梱包箱に入れます。**

   > **!重要**
   > 保護材の取り付けや輸送は、本製品を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態で行ってください。

以上で終了です。

輸送後は、保護材を取り外してからお使いください。輸送後に印刷不良が発生したときは、プリントヘッドをクリーニングしてみてください。
☞「ノズルチェックとヘッドクリーニング」55 ページ

製品の仕様

製品の仕様とご注意

以下の情報は、2012 年 7 月現在のものです。

■ 総合仕様

ノズル配列	黒インク：128 × 3 列ノズル カラーインク：各色 128 ノズル
インク色	ブラック、マゼンタ・シアン・イエロー
最高解像度	5760×1440dpi （最小 1/5760 インチのドット間隔で印刷します）
最小ドットサイズ	2pl（ピコリットル）
インターフェイス	Hi-Speed USB×2（PC 接続用、外部記憶機器接続用）
	10BASE-T/100BASE-TX
定格電圧	AC100V
定格周波数	50 ～ 60Hz
定格電流	0.7A
消費電力	コピー時：約 17W （ISO/IEC24712 印刷パターンコピー）
	スリープモード時：約 2.0W
	電源オフ時：約 0.2W
外形寸法	• PX-675F 収納時：幅 449× 奥行き 427× 高さ 308mm 使用時：幅 449× 奥行き 563× 高さ 308mm • PX-605F 収納時：幅 449× 奥行き 417× 高さ 243mm 使用時：幅 449× 奥行き 560× 高さ 243mm
質量	• PX-675F 約 10.9kg（インクカートリッジ、電源コードを含まず） • PX-605F 約 9.0kg（インクカートリッジ、電源コードを含まず）

動作時の環境	温度：10 ～ 35 ℃ 湿度：20 ～ 80%（非結露）
保管時の環境	温度：-20 ～ 40 ℃ 湿度：5 ～ 85%（非結露）
省資源機能	両面・割り付け・縮小などの印刷機能で、印刷用紙の使用枚数が節約できます。
対応 OS*1	• Windows XP、Windows XP Professional x64 Edition、Windows Vista*2、Windows 7*2、Windows Server 2003、Windows Sever 2008、Windows Sever 2008 R2 • Mac OS X v10.5.8、Mac OS X v10.6.x、Mac OS X v10.7.x

*1: 最新の OS 対応状況はエプソンのホームページをご覧ください。
＜ http://www.epson.jp/support/taiou/os/ ＞
*2: 32 ビット版・64 ビット版に対応

■ インクカートリッジ型番

以下をご覧ください。
☞「裏表紙」

■ スキャナー部

走査方法	読み取りヘッド移動による原稿固定読み取り
センサー	CIS
出力解像度	主走査：1200dpi 副走査：2400dpi
最大有効画素数	10200×14040Pixel
最大原稿サイズ	A4・US レターサイズ（216×297mm）
階調	RGB 各色：16bit 入力・1bit または 8bit 出力

■ADF 部

用紙セット方向	原稿面上向き
最大原稿サイズ	A4・US レター・Legal サイズ（216×355.6mm）
セット可能用紙種類	普通紙（坪量 64 ～ 95g/m^2）
最大セット可能枚数	30 枚または 3mm

■ ファクス部

型式	送受信兼用デスクトップ（スーパー G3・カラーファクス）
対応回線	一般加入電話回線（PSTN）*1
通信速度	高速（スーパー G3）
解像度	モノクロ ドラフト：8pels/mm×3.85lines/mm 標準：8pels/mm×7.7lines/mm きれい：8pels/mm×7.7lines/mm カラー 標準：200×200dpi きれい：200×200dpi
短縮ダイヤル登録件数	最大 100 件
受信ファクス最大保存ページ数	約 180 ページ（ITU-T 標準原稿をモノクロドラフトで受信した場合）

*1: 以下のシステムや電話回線では使用できないことがあります。
・構内交換機（PBX*2 を使用した内線電話システム）
・ADSL や光ファイバーなどの IP 電話回線
・各種サービス（キャッチホンなど）の提供を受けている電話回線
・デジタル回線（ISDN）
・加入電話回線との間にアダプター（ターミナルアダプター・VoIP アダプター・スプリッター・ADSL ルーターなど）を接続しているとき
ドアホンやビジネスホンには対応していません。
また、電話回線の状況は地域などの条件によって使用できないことがあります。
*2: 企業などの内線電話システム（外線発信時に電話番号の最初に 0 などの外線発信番号を付けて通話する）で使われている回線

■ 有線 LAN

準拠規格	IEEE 802.3i/u、IEEE 802.3az*
通信モード	10BASE-T・100BASE-TX　自動または固定の選択が可能
コネクター形状	RJ-45
ポート規制	Auto-MDIX 対応

*:　接続機器が IEEE802.3az に対応している必要があります。

■ 無線 LAN

準拠規格	IEEE 802.11b/g/n
無線規格	ARIB STD-T66・RCR STD-33
周波数範囲	2.400 ～ 2.4835GHz（1 ～ 13ch） 2.471 ～ 2.497GHz（14ch）
チャネル	IEEE 802.11b：　1 ～ 14ch IEEE 802.11g：　1 ～ 13ch IEEE 802.11n：　1 ～ 13ch
伝送方式	DS-SS（IEEE 802.11b） OFDM（IEEE 802.11g/n）
通信速度 *1	IEEE 802.11b：1 ～ 11Mbps IEEE 802.11g：6 ～ 54Mbps IEEE 802.11n HT20：6.5 ～ 72.2Mbps
通信モード	インフラストラクチャー・アドホック *2
セキュリティー	WEP(64/128bit)・WPA-PSK(TKIP) *3・WPA-PSK（AES）*3

*1: 電波状況により変動あり
*2: IEEE 802.11n には非対応
*3: WPA2 規格に準拠し、WPA/WPA2 Personal 規格に対応

■ カードスロット対応電圧

3.3V 専用・3.3V/5V 兼用（供給電圧は 3.3V）
ただし、5V タイプのメモリーカードには非対応

最大供給電流	450mA

■ 対応画像ファイル

デジタルカメラ	DCF*1 Version2.0*2 規格準拠
対応画像ファイルフォーマット	DCF*1 Version1.0 または 2.0*2 規格準拠のデジタルカメラで撮影した JPEG*3 形式の画像ファイル
有効画像サイズ	横：80 ～ 9200 ピクセル 縦：80 ～ 9200 ピクセル
最大ファイル数	9990 個 *4

*1: 社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）で標準化された「Design rule for Camera File system」規格の略称
*2: 内蔵メモリーに保存されている画像には非対応
*3: Exif Version2.3 準拠
*4: 一度に表示できるファイル数は 999 個（999 個を超えるとグループ単位で表示）

本製品で認識できない画像ファイルは、液晶ディスプレイ上に「？」と表示されます。複数面レイアウト（自動配置）やインデックス印刷などでは、空白（印刷されない）になります。

■ 外部記憶装置

外部記憶装置	メディア / サポートする最大容量
CD-R ドライブ [*1] DVD-R ドライブ [*1] ブルーレイ™ ドライブ [*1]	CD-ROM[*2]/CD-R 700MB DVD-ROM[*2]/DVD-R 4.7GB （CD-RW・DVD+R・DVD±RW・DVD-RAM・ブルーレイディスク™には非対応）
MO ドライブ [*1]	MO 1.3GB
HDD[*1]・USB フラッシュメモリー	2TB（FAT・FAT32・exFAT フォーマット済みのもの）

*1: バスパワーでの電源供給不可。AC アダプターを接続して使用してください。
*2: 読み込みのみ対応

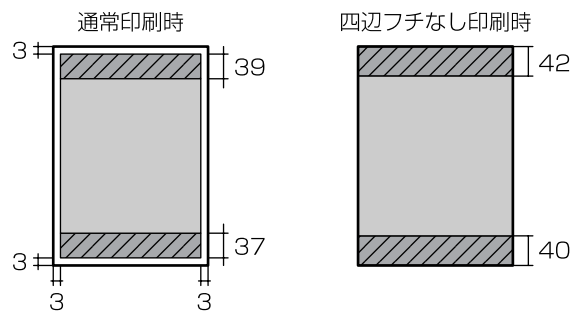
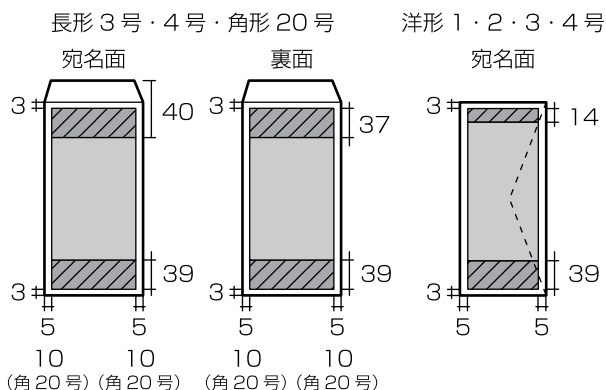
以下の外部記憶装置は使用できません。

- 専用のドライバーが必要なもの
- セキュリティー（パスワード・暗号化）機能付きのもの
- USB ハブ機能が内蔵されているもの

また、全ての動作を保証するものではありません。ご使用時の注意事項などは、エプソンのホームページで確認してください。
＜ http://www.epson.jp ＞

■ 印刷領域（単位 mm）

本製品の機構上、斜線の部分は印刷品質が低下することがあります。

定形紙

封筒

規格・規制

■ 電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

■ 瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

■ 電波障害自主規制

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

■ 著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

■ 複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律）刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条通貨及証券模造取締法 第 1 条、第 2 条など以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

■ 商標

- Mac、OS X は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- EPSON ステータスモニターはセイコーエプソン株式会社の商標です。
- EPSON PRINT Image Matching は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- EPSON Scan is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- AOSS™ は株式会社バッファローの商標です。
- SDXC Logo is a trademark of SD-3C,LLC
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

本製品は、PRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matchingに関する著作権は、セイコーエプソン株式会社が所有しています。PRINT Image Matchingに関する情報は、エプソンのホームページをご覧ください。

表記

- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system 日本語版

本書では、上記の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows XP」「Windows Vista」「Windows 7」「Windows Server 2003」「Windows Server 2008」「Windows Server R2 2008」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

本書中では、Mac OS X Lion を「Mac OS X v10.7.x」と表記しています。

ご注意

■ メモリーカード

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます。以下同じ。）の不具合によってデータの記録、またはパソコン、その他の機器へのデータ転送が正常に行えない等、所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償いたしかねます。

動作確認とバックアップのお勧め

本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、メモリーカード内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。

- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 誤った使い方をしたとき
- 故障や修理のとき
- 天災により被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責も負いません。

譲渡と廃棄

メモリーカード（USB フラッシュメモリーを含む）を譲渡・廃棄する際は、市販のデータ消去用ソフトウェアを使って、メモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。パソコン上でファイルを削除したり、フォーマット（初期化）したりするだけでは、市販のデータ復元用ソフトウェアで復元できる可能性があります。また、廃棄時には、メモリーカードを物理的に破壊することもお勧めします。

■ 液晶ディスプレイ

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

■ 電波

機器認定

本製品には電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けている無線設備が内蔵されています。

- 設備名：　WLU6117-D69(RoHS)
- 認証番号：　003WWA110893
  003GZA110894

周波数

本製品は、2.4GHz 帯の 2.400GHz から 2.497GHz まで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上の注意
本製品の使用周波数は、2.4GHz 帯です。この周波数では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局、免許を要しない特定の小電力無線局（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。
1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、使用周波数を変更するかまたは本機の運用を停止（無線の発射を停止）してください。
3. 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、カラリオインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

参考

上記注意事項が記載されているステッカーが同梱されています。本製品の目立つところに貼り付けてください。
本製品は Wi-Fi Alliance の承認を受けた無線機器です。
他メーカーの Wi-Fi 承認済みの無線機器と通信が可能です。Wi-Fi 対応製品の詳細は Wi-Fi Alliance のホームページ（http://www.wi-fi.org）をご参照ください。

2.4 DS/OF 4

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。
変調方式として DS-SS、OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。
全帯域を使用し周波数変更が可能です。

■ セキュリティー

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。
本製品などの無線 LAN 製品では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えて全ての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み取られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ID　やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。無線 LAN 製品は、購入直後の状態においては、セキュリティーに関する設定が施されていない場合があります。
従って、お客様がセキュリティー問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 製品のセキュリティーに関する全ての設定をマニュアルに従って行ってください。
なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティー設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。
※ セキュリティー対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティーの問題が発生してしまった場合、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

本製品のセキュリティーの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、「おうちプリント訪問サービス」（有償）をご利用ください。
☞「お問い合わせ先」76 ページ
弊社では、お客様がセキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

■ 本製品の日本国外への持ち出し

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

■ 本製品の譲渡と廃棄

本製品を譲渡もしくは廃棄する際は、本製品のメモリーに保存されているお客様固有の情報の流出による、不測の事態を回避するために、保存した情報（電話番号、宛先名称など）を消去してください。
消去方法については以下のページをご覧ください。
☞「セットアップモード」23 ページ
一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートは、以下のページでご案内しています。
☞「お問い合わせ先」76 ページ

- 本製品に関するお問い合わせ先
  カラリオインフォメーションセンター
- 『読ん de!! ココパーソナル』（付属ソフトウェア）に関するお問い合わせ先
  エプソン販売株式会社 エーアイソフト製品総合窓口
  （『読ん de!! ココパーソナル』ユーザーズマニュアルの「サポートサービス総合案内」またはホームページ
  ＜ http://ai2you.com/support ＞ー「製品サポートサービスに関する総合案内」で確認してください。）
- マニュアルダウンロードサービス
  製品マニュアル（取扱説明書）の最新版 PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。
  ＜ http://www.epson.jp/support/ ＞ー「製品マニュアルダウンロード」

お問い合わせの前に

まず、以下のトラブル対処方法を確認してみてください。
☞「困ったときは」58 ページ
☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）
それでも解決しないときは、以下の事項を確認してからお問い合わせください。

①本製品の型番： PX-675F/PX-605F
②製造番号（製品に貼られているラベルに記載） EPSON ■■■■■ 製造番号 *XXXXXXXXX*
③どのような操作 □コピー □スキャン □メモリーカードから印刷 □パソコンから印刷 □その他（　　　　　　　　　　）
④印刷データ □写真 □文書 □その他（　　　　　　　　　　）
⑤エラー表示 □液晶ディスプレイ □パソコン画面 メッセージ内容（　　　　　　　　　　）

⑥用紙の種類 □普通紙 □写真用紙 □ハガキ □その他（　　　　　　　　　　　　　　）
⑦用紙のサイズ □ A4 □ハガキ □ L 判 □その他（　　　　　　　　　　　　　　）

修理とアフターサービス

■ 保証書

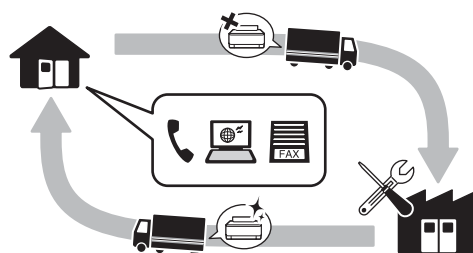
保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記載漏れがないかご確認ください。
これらの記載がない場合は、保証期間内であっても保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

■ 補修用性能部品と消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。
故障の状況によっては弊社の判断により、製品本体を、同一機種または同等仕様の機種と交換等させていただくことがあります。なお、同等機種と交換した場合は、交換前の製品の付属品や消耗品をご使用いただけなくなることがあります。
※改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

■ 保守サービスの種類と受付窓口

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。

引取修理サービス（ドア to ドアサービス）
ご指定の日時・場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。お客様による梱包・送付の必要はありません。修理完了品を最短で 3 日後にお届けします。修理費用とは別にサービス料金 1,575 円 / 台（税込み、保証期間内外とも一律）が必要です。

送付修理サービス（デリバリーサービス）
お客様により修理品を梱包・送付していただきます。修理完了品を最短で 3 日後にお届けします。

持込修理サービス（クイックサービス）
お客様により修理品を梱包・送付していただきます。修理完了品を最短で 3 日後にお届けします。

保守サービスの詳細は、次のいずれかでご確認ください。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソン修理センター（次ページの一覧表をご覧ください）
- エプソンのホームページ＜ http://www.epson.jp ＞

!重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。
これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

お問い合わせ先

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!	**http://myepson.jp/**

▶カンタンな質問に答えて会員登録。

●カラリオインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

【電話番号】　**050-3155-8022**

【受付時間】　月～金曜日9:00～20:00　土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-589-5251へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒003-0021　札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-1243　松本市神林1563 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012　東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
鳥取修理センター	〒689-1121　鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)	050-3155-7140
福岡修理センター	〒812-0041　福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027　那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。 http://www.epson.jp/support/
◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。
・松本修理センター:0263-86-7660　・東京修理センター:042-584-8070
・鳥取修理センター:0857-77-2202　・福岡修理センター:092-622-8922

●引取修理サービス（ドアtoドアサービス）に関するお問い合わせ先

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

【電話番号】　**050-3155-7150**

【受付時間】　月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日は除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。
＊引取修理サービス（ドアtoドアサービス）について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/support/
＊平日の17:30～20:00（弊社指定休日含む）および、土日、祝日の9:00～18:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通航空で代行いたします。
＊年末年始（12/30～1/3）の受付は土日、祝日と同様になります。

●エプソン プラス・ワンサービス

"電話だけではわかりにくい" "もっと深く知りたい" などのご要望にお応えする有料サービスです。

○遠隔サポートサービス
インターネットを介してお客様のパソコン画面をオペレーターのパソコンに表示し、画面共有しながら操作・設定方法などをアドバイスさせていただく有料サービスです。
※サービスの概要および注意事項等、詳細事項はエプソンのホームページでご確認ください。 http://www.epson.jp/es/
【電話番号】050-3155-8888
【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～20:00 土曜日・日曜日・祝日 10:00～17:00
◎上記電話番号がご利用できない場合は、042-511-2788へお問い合わせください。

○おうちプリント訪問サービス
2つのメニューをご用意。ご自宅にお伺いする有料サービスです。
・おたすけサービス :カラリオ製品の本体設置や、無線LANの接続・設置などを行います。
・ホームレッスン　:カラリオ製品の使い方、パソコンから写真印刷する方法などのレッスンを行います。
※サービスの概要および注意事項等、詳細事項はエプソンのホームページでご確認ください。 http://www.epson.jp/support/houmon/
【電話番号】050-3155-8666
【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
◎上記電話番号がご利用できない場合は、042-511-2944へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しており、一部のPHSやIP電話事業者からはご利用いただけない場合があります。

●講習会のご案内

詳細はホームページでご確認ください。 http://www.epson.jp/school/

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認いただけます。http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101）でお買い求めください。（2012年5月現在）

エプソン販売 株式会社　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン 株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5

コンシューマ（SPC）　2012. 05

索引

て

と

ね

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

む

め

も

よ

り

れ

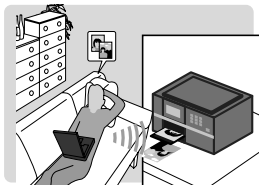
症状別トラブル Q&A

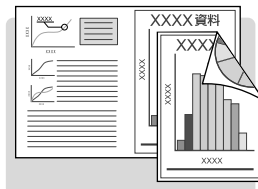
お問い合わせが多い内容です。該当する症状があるときは、対処方法が記載されているページをご覧ください。

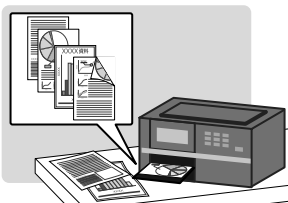
（Q）	（A）
ムラになる・にじむ・ぼやける	セットした用紙と印刷設定が合っていない可能性があります。 「印刷できる用紙と設定」28 ページ
シマシマになる・スジや線が入る・色味がおかしい	プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。 「ノズルチェックとヘッドクリーニング」55 ページ
給紙できない	用紙が正しくセットされていない可能性があります。 「セット方法」28 ページ
用紙が詰まった・排紙できない	詰まった用紙を取り除いてください。 「詰まった用紙の取り除き方」58 ページ
パソコンから印刷できない	• 必要なソフトウェアが正しくインストールされていない、設定が間違っている、などの可能性があります。 『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「トラブル解決」－「印刷のトラブル」－「印刷できない」 • ネットワーク接続の設定が正しくされていない可能性があります。 『ネットワークガイド』（電子マニュアル）－「トラブル解決」-「その他のトラブル」－「ネットワーク印刷時のトラブル」 それでもトラブルが解決しないときは、エプソンのホームページ「よくある質問（FAQ）」をご覧ください。 <http://www.epson.jp/faq/>

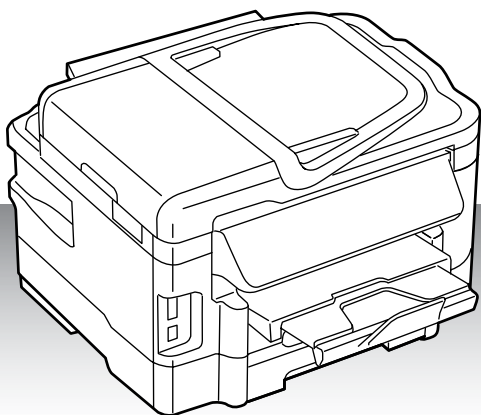
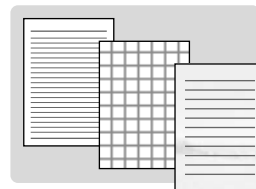
こんなことができます

いつでもどこでもプリント

無線 LAN 対応なので、プリンターの置き場所は自由。プリントもスキャンもワイヤレスで！
モバイル & クラウドプリントサービスで、あらゆるコンテンツを「いつでも」「どこへでも」「快適に」プリントできます（Epson Connect）。
『Epson Connect ガイド』
（電子マニュアル）
http://www/epson.jp/connect/

紙の使用量を削減

- 2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の用紙に印刷したり、両面に印刷したり。組み合わせれば紙の使用量を 1/8 に削減できます。
- スキャンしたデータを直接パソコンに送ったり、PDF ファイルにしたり。プリントせずにそのまま保存できます。
- コピー結果がプレビューできる！ コピーの失敗が防げます。
- パソコンで作成した文書をプリントせずに「そのままファクス」が可能。

ビジネスでも快適

大量の両面文書のスキャンやコピーをスピーディーに処理。

オリジナル品を作ろう

罫線やマス目を入れたオリジナル用紙。

インクカートリッジの型番

本製品で使用できるインクカートリッジの型番は以下です。

画面の表示	色	標準 カートリッジ	大容量 カートリッジ
[BK]	ブラック	ICBK62	ICBK61
[C]	シアン	ICC62	—
[M]	マゼンタ	ICM62	—
[Y]	イエロー	ICY62	—
4 色パック		IC4CL62	IC4CL6162

ICBK61 と ICBK62 は混在して使用できます。

イメージ写真：ペン

イメージ写真：クリップ